

## 令和元年(2019年)第1回自転車のまちつくば推進委員会

日時：令和元年(2019年)7月18日(木)午後2時～4時

場所：つくば市役所5階庁議室

### 議事次第

#### 1 開会

#### 2 委員及び事務局紹介

#### 3 委員長及び副委員長選任

#### 4 議事

(1)つくば市自転車安全利用促進計画アクションプラン施策の平成30年度進捗評価及び令和元年度の方針について

【参照資料：資料No. 2及び資料No. 2参考】

(2)平成27年～30年度のアクションプラン施策及び実施メニュー中間評価

【参照資料：資料No. 3】

(3)アクションプランの見直しについて

【参照資料：資料No. 4-1及び資料No. 4-2】

#### 5 情報提供

・茨城県：いばらき自転車活用推進計画

【参照資料：参考2】

#### 6 その他

・アンケートの概要及び調査票

・議案への意見について

【参照資料：資料No. 5及び参考4】

◆配布資料

資料 No. 1 : 自転車のまちつくば推進委員会の役割と市の取組の全体像について

資料 No. 2 : アクションプラン平成 30 年度実績と令和元年度の方針について

資料 No. 2 参考 : (詳細版) アクションプラン平成 30 年度実績と令和元年度の方針について

資料 No. 3 : アクションプラン中間評価について

資料 No. 4-1 : アクションプラン見直し方針について

資料 No. 4-2 : 中間評価による実施メニュー見直し方針(案)

資料 No. 5 : アンケート調査概要

参考 1 : 委員会設置要項

参考 2 : いばらき自転車安全利用促進計画概要版

参考 3 : サイクリングマップ「つくばバイシクルスローライフ」など

参考 4 : 意見様式

参考 5 : 自転車利用環境向上会議 in 札幌

# 令和元年(2019年)度 第1回自転車のまちつくば推進委員会委員名簿

敬称略・順不同

No	所 属	職 名	氏 名
1	茨城大学工学部都市システム工学科	教授	金 利昭
2	筑波大学芸術系環境デザイン領域	准教授	渡 和由
3	国土技術政策総合研究所道路交通研究部 道路交通安全研究室	主任研究官	掛井 孝俊
4	国立研究開発法人国立環境研究所 社会環境システム研究センター	環境政策研究室長	松橋 啓介
5	茨城県つくば中央警察署	交通課長	佐藤 英雄
6	茨城県つくば北警察署	交通課長	櫻井 敦
7	茨城県政策企画部地域振興課	課長	松田 慧吾
8	茨城県土浦土木事務所	次長兼道路整備第一課長	山田 道雄
9	国立大学法人 筑波大学	学生生活課課長	葛山 清光
10	つくば市中学校長・高等学校長協議会	会長	國府田 稔
11	つくば市PTA連絡協議会	副会長	森田 修司
12	つくば市体育協会	会長	萩原 武久
13	茨城県自転車二輪自動車商協同組合	つくば中央支部長	小田倉 宣光
14	つくば中央地区交通安全母の会連合会	会長	飯島 和子
15	つくば北地区交通安全母の会連合会	会長	鮎川 礼子
16	つくば市区会連合会	会長	小原 正彦
17	チーム36	広報担当	藤澤 宏
18	市民公募委員		藤倉 誠
19	市民公募委員		吉田 章
20	市民公募委員		安藤 慎悟
21	つくば市	経済部長	篠塚 英司
22	つくば市	建設部長	上野 義光
23	つくば市	都市計画部長	中根 祐一

# 自転車のまちつくば推進委員会の 役割と市の取組の全体像について

令和元年(2019年)7月18日

つくば市 都市計画部 総合交通政策課

# 自転車のまちつくば推進委員会について

## 自転車のまちつくば推進委員会の概要

### 【目的】

つくば市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例第7条に基づく、つくば市自転車安全利用促進計画の策定及びその推進に関して広く関係団体等の意見を求めること。

### 【所管事項】

- (1) つくば市安全利用促進計画の策定及び変更に関すること。
- (2) つくば市安全利用促進計画の施策推進に関すること。

【組織】 推進委員会は、各団体又は機関の代表者へ宛職にて委嘱しています。委嘱期間は委嘱の日から翌年度末までの2カ年度。

### 【構成】

#### 有識者

大学教授、国、研究機関等

#### 市民

代表区長、市民公募委員

#### 自転車利用者

筑波大学、高校、NPO、PTA、体育協会等

#### 自転車関連団体

自転車販売店  
交通安全母の会

#### 行政機関

茨城県警察、茨城県  
つくば市 等

※1：つくば市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例（平成26年条例第39号）、平成26年4月1日施行

※2：自転車のまちつくば推進委員会：平成22年5月7日に設置し、現在まで自転車関連計画の検討及び進捗管理を担う。

# 令和元年度 自転車のまちつくば推進委員会実施内容

## (1) つくば市安全利用促進計画の策定及び変更に関すること。

- ① つくば市自転車安全利用促進計画アクションプランの見直しについて。
  - ・ (仮称) 後期アクションプランの新たな実施メニュー (取組み)
  - ・ 進捗管理指標 など
- ② アクションプランの進捗管理及び評価
  - ・ 平成30年 (2018年) 度施策の進捗管理及び評価
  - ・ 平成27年～平成30年までの施策評価

## (2) つくば市安全利用促進計画の施策推進に関すること。

- ① アクションプラン施策又は実施メニュー等への意見、助言等
- ② その他、つくば市の自転車施策を推進する意見、助言 など

## 自転車のまちつくば推進委員会スケジュール

- 7月18日 令和元年度第1回自転車のまちつくば推進委員会
    - ・ 平成30年度施策の進捗管理
    - ・ 平成27年度～30年度の中間評価
    - ・ 後期アクションプラン骨子 (検討方向性の共有等)
  - 11月頃 第2回自転車のまちつくば推進委員会
    - ・ 後期アクションプラン(素案)の検討
  - 2月頃 第3回自転車のまちつくば推進委員会
    - ・ パブコメ後の修正案の検討
- ※令和2年4月 (仮称) 後期アクションプラン施行

# つくば市の自転車安全利用の取組みについて

- 平成26年度に自転車安全利用促進条例を制定・施行し、条例に基づく計画として自転車安全利用促進条例及びアクションプラン(平成27年4月施行)を位置づけている。
- 安全で適正な自転車利用環境があって、自転車の利用促進が図られるものと整理。

## つくば市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例

(平成26年(2014年)4月1日施行)

- 基本理念：交通事故や放置駐輪など諸問題を市、市民等及び関係機関の相互の連携により解決し、安全で適正な自転車利用を促進する。
- 特徴：①市は**自転車安全利用促進計画を策定する責務**。  
 ②市民、自転車利用者、自転車小売業者、保護者に安全利用を推進するための努力義務(安全点検、保険加入、保護具着用)を設定  
 ③市は、茨城県、警察、学校等教育機関と連携し安全利用を図る。



条例に基づいた計画と位置づけ

## つくば市自転車安全利用促進計画

(平成27年(2015年)4月1日施行)

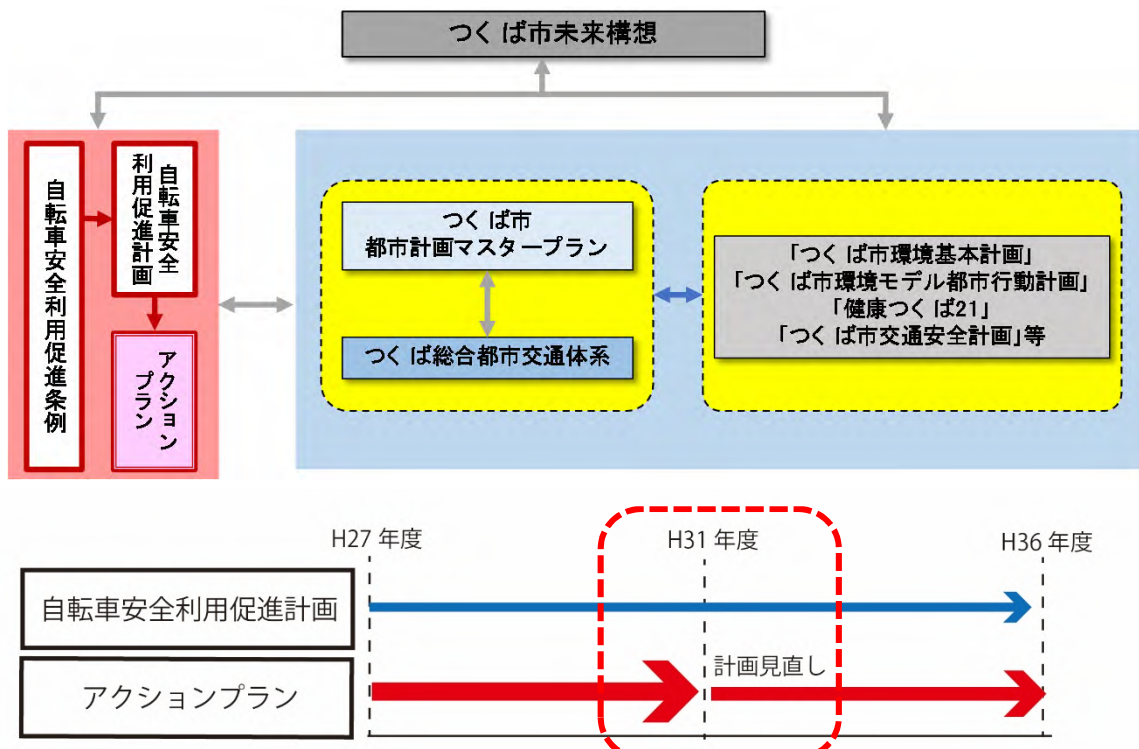
- つくば市における自転車の安全利用の促進及び走行環境の向上に関わる基本計画として、各種自転車施策の展開方針を示す(基本計画)
- 計画期間：平成27年(2015年)～平成36年(2024年)の10ヶ年



## つくば市自転車安全利用促進計画アクションプラン

(平成27年(2015年)4月1日施行)

- 「自転車安全利用促進計画」に掲げた各施策の着実な推進を図るため施策の具体的内容やスケジュールを定めたもの(行動計画)
- 計画期間：平成27年(2015年)～平成31年(2019年)の5ヶ年



# アクションプランの構成について

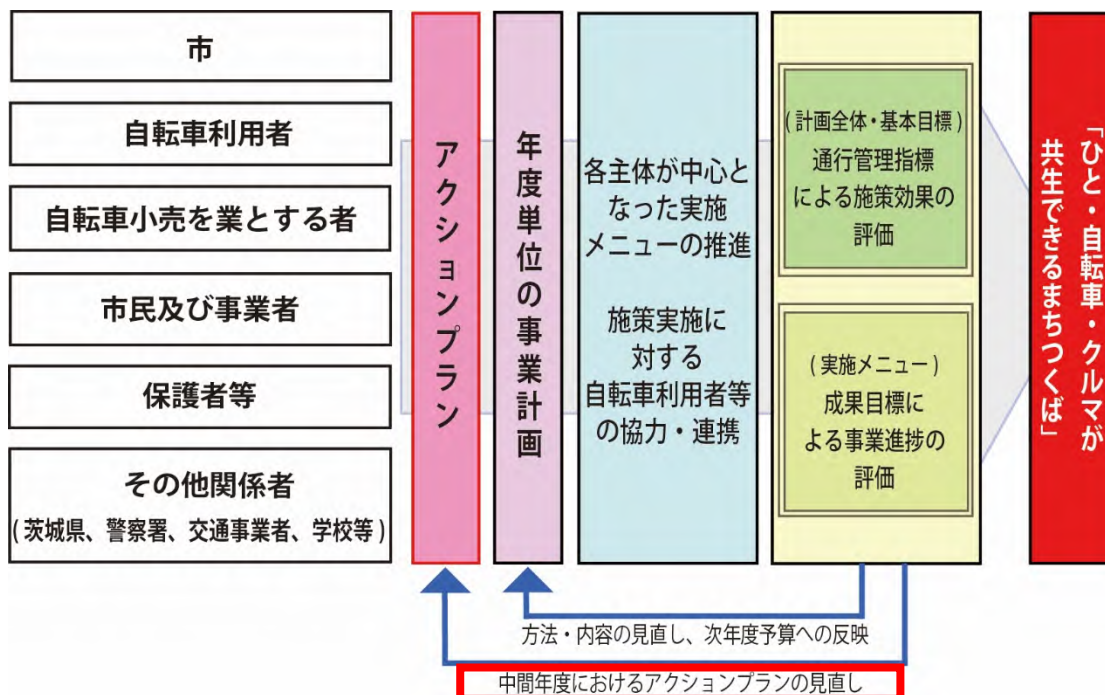
- 平成26年度の自転車安全利用促進計画及びアクションプラン策定時に
  - ①アンケート調査②自転車走行空間調査③交通状況調査を実施。
- 調査結果をもとに抽出した課題を解決するため、自転車安全利用促進計画にて3つの基本目標、6つの施策方向性及び12の施策を策定。
- 促進計画の12の施策に基づく具体的な実施内容をアクションプランにて策定。



引用：アクションプランP3図2-1調査体系

## ○なぜアクションプランの見直しを行うのか？

つくば市自転車安全利用促進計画の目標を達成するため  
 …促進計画策定時に把握した課題に対する取組みがアクションプラン。  
 目標への到達度を踏まえて、施策の組み替えや拡充等を行い、  
 より高い効果を目指すために見直しを行います。





## アクションプラン検討のスケジュール

時期		進捗目標
7月18日	第1回自転車のまちつくば推進委員会	アクションプラン見直し骨子
9月		アンケート調査
10月		実施メニュー案の作成
11月	第2回自転車のまちつくば推進委員会	後期アクションプラン素案の検討
12月		
1月		パブリックコメント
2月	第3回自転車のまちつくば推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメント結果の確認及び反映</li> <li>・後期アクションプラン案の作成</li> </ul>
3月		
4月		後期アクションプラン施行



自転車のまちつくば

# 令和元年度第1回自転車のまちつくば推進委員会

## つくば市自転車安全利用促進計画アクションプラン

# 平成30年度実績と 令和元年度の方針について

令和元年7月18日

つくば市

都市計画部 総合交通政策課



## 自転車安全利用促進計画アクションプラン 実績評価方法

○施策の評価は、平成30年度各施策アウトプット指標の数値を「つくば市自転車安全利用促進計画アクションプラン」P37に掲載されている評価方法に基づいて評価を実施します。

### (1) 実施メニュー別評価

考え方	評価	点数
成果目標を達成している	a	2点
成果目標は達成していないが、事業を実施している	b	1点
事業に未着手	c	0点

### (2) 施策別評価

実施メニューに付与した点数を、施策ごとに平均点を算出し、以下のように評価します。  
評価した結果を次ページ以降に掲載しています。

平均点	考え方	評価
2点	すべてのメニューが成果目標を達成している	A：目標を上回る成果
1点以上	概ねの施策が進んでいる	B：概ね目標通りの成果
1点未満	施策が進んでいる	C：目標には届かないが成果あり
0点	全てのメニューが着手されていない	D：未実施

# [平成30年度実績の評価結果] 自転車安全利用促進計画アクションプラン

A. 目標を上回る成果

B. 概ね目標どおりの成果

C. 目標には届かないが成果あり

D. 未実施

**A評価**

1 施策

**B評価**

6 施策

**C評価**

5 施策

**D評価**

2 施策

基本目標 1

自転車の安全利用につながる意識づくり

＜施策の方向性 1＞  
自転車安全利用を促すための教育の充実

【施策 1】 ライフステージに応じた自転車利用等の交通安全に関する教育の促進

B

【施策 2】 自転車安全利用を促す啓発活動

C

＜施策の方向性 2＞  
自転車の安全な利用を見守る社会の構築

【施策 3】 連携・協働による自転車安全利用促進体制の充実

D

【施策 4】 自転車安全利用教育を応援する体制の構築

D

基本目標 2

安全で、快適に自転車で走ることができる環境づくり

＜施策の方向性 3＞  
自転車走行環境の形成

【施策 5】 歩行者・自転車等の通行環境の整備・充実

A

＜施策の方向性 4＞  
自転車を快適に利用できるサービスの構築

【施策 6】 駐輪場の整備と放置自転車の対策

B

【施策 7】 サイクリングを楽しむためのサービス環境の充実

B

【施策 8】 公共交通と連携した自転車利用の促進

B

基本目標 3

環境にやさしく健康に役立つ自転車を楽しむまちづくり

＜施策の方向性 5＞  
環境にやさしい自転車利用の促進

【施策 9】 温室効果ガス排出量削減を目指した行動の拡大

C

【施策 10】 交通手段転換へのサポートの充実

C

＜施策の方向性 6＞  
健康づくりにつながる自転車利用の促進

【施策 11】 健康づくりを目指した自転車利用の充実

B

【施策 12】 自転車を活用した健康づくりを応援するサービスの充実

B

# 平成30年度アクションプラン施策における主な成果

## 【施策1】ライフステージに応じた自転車利用等の交通安全に関する教育の促進

- 小学生向け交通安全教室を132回開催しました。  
うち、夏休みなどの長期休みに申込み制の自転車シミュレーターを用いた交通安全教室を33回、市内のラジコンサーキット場での交通安全教室を2回開催しました。
- ほかにも、市内公立中学校の全校（17校）や保護者や高齢者向けの交通安全教室を開催しています。



## 【施策2】自転車安全利用を促す啓発活動

- つくばフェスティバルとつくば環境フェスティバルに計3日間出展し、自転車の安全利用と利用促進を周知しました。  
特に、来場者へつくば霞ヶ浦りんりんロードの周知、及び、保護者への児童の保険加入とヘルメット着用の重要性を啓発しました。
- ◆令和元年度は、ヘルメット着用を推進するため、購入補助制度の検討を行います。



## 【施策3】連携・協働による自転車安全利用促進体制の充実

- つくば市交通安全協会など同様の目的と類似した構成員の組織が既に存在することから、実施メニューの目的や進め方を引き続き検討することとしました。
- ◆令和元年度は、自転車のまちつくば推進委員会委員相互で安全利用や利用促進等の各種取組を情報交換する場を検討します。



### 【施策4】自転車安全利用教育を応援する体制の構築

- 市の既存施策（環境スタイルサポーター等）と協働する方針を検討したものの、継続して実施する体制や人員などが課題となったため、継続して検討することとしました。
- ◆令和元年度は、企業等の自転車安全利用を促進するための啓発活動を実施しつつ、検討を続けます。

### 【施策5】歩行者・自転車等の通行環境の整備・充実

- 吾妻地区の自転車通行帯（自転車レーン）が完成し、新たに2.43kmの自転車通行帯（自転車レーン）を共用することができました。
- H30年度末で、つくば駅周辺自転車通行帯の整備総延長は10.4kmとなりました。
- ◆令和元年度は、竹園西小学校付近の通学路安全点検を実施し、通行環境整備に向けた準備を行います。また、ペDESTリアンデッキの整備に向けた測量設計を進めます。

### 【施策6】駐輪場の整備と放置自転車の対策

- 年間を通じて週3回の放置駐輪撤去作業を実施し、駅周辺の環境維持に努めました。しかし、放置禁止区域における撤去台数及び指導・警告件数は減少しているものの、依然として撤去作業、指導・警告等の啓発は必要です。
- 茨城県自転車二輪自動車商協同組合等と連携し、放置駐輪の撤去及びリサイクル自転車の活用を継続して実施しました。協定により提供し、再利用に供した保管期限切れ自転車台数は539台にのぼります。



## 【施策7】サイクリングを楽しむためのサービス環境の充実

- つくば駅周辺の市営自転車駐車場（駐輪場）の台数は、3395台と自転車活用促進計画策定当初の予定を上回る環境整備ができています。
- 茨城県と連携し実施している「いばらきサイクルサポートステーション」の登録箇所数がH30年度は10箇所増加し、累計で42箇所となりました。
- 市で設置しているウェブサイト「つくば市サイクリングガイド」を継続して管理・運営し、おすすめサイクリングコースや市内の自転車関連情報を発信しました。
- ◆令和元年度も、サイクルサポートステーション事業等と連携し環境整備を進めます。



【つくば市サイクリングガイドQRコード】  
こちらからウェブをご覧ください。



## 【施策8】公共交通と連携した自転車利用の促進

- TX駅前や各窓口センターなどの交通拠点への駐輪場整備は、概ねH29年度に完了していることから、H30年度の実績はありません。
- サイクルシェアリングに関する需要調査として4カ年実施していた「荃崎運動公園」「荃崎六斗の森」「豊里ゆかりの森」の無料レンタサイクル実験を終了しました。3箇所合計で78台の利用であり需要が少ないことからサイクルシェアリング展開は見送りました。
- 今後は「荃崎運動公園」「豊里ゆかりの森」独自の無料レンタサイクルとして施設利用者向けに自転車の貸し出しを行います。
- つくば駅レンタサイクルの利用が好調で、年間4731台の利用がありました。また、筑波山口レンタサイクルはH30年度から冬季休業を撤廃し、通年貸し出しとなったこともあり、約60台増加の587台の利用がありました。
- ◆令和元年度は、バス停への駐輪場整備の考え方や自転車積載ラックの広報手法を検討します。

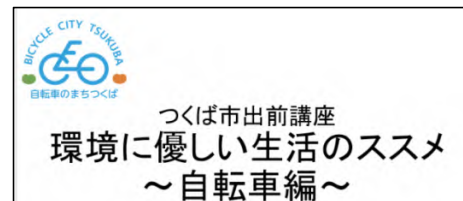


筑波山口レンタサイクル  
順次、クロスバイクの導入を進めています

# 平成30年度アクションプラン施策における主な成果

## 【施策9】 温室効果ガス排出量削減を目指した行動の拡大

○期間を定めたエコ通勤から、年間を通してエコドライブ・エコ通勤に関する啓発を行いました。  
 ○つくば市に適したエコ通勤のあり方やエコドライブについてのセミナーを平成30年度採用職員を対象に実施し、自動車以外の通勤方法への転換やエコドライブの実施を促しました。



## 【施策10】 交通手段転換へのサポートの充実

○市で設置しているウェブサイト「つくば市サイクリングガイド」を継続して管理・運営し、おすすめサイクリングコースや市内の自転車関連情報を発信しました。【再掲：施策7】  
 なお、ウェブサイトは年間で47,000件の訪問件数がありました。  
 ○自転車利用促進の出前講座「環境に優しい自転車のすすめ」を開催し、企業従業員約40名へ自転車通勤のメリット、安全利用のポイントを広報しました。  
 ◆令和元年度は、ウェブサイトを活用した情報提供を強化していきます。

自転車を安全に利用するためのポイント「まとめ」

ルールを守る＝自身の過失割合がなくなる

○自転車はクルマと比べると交通弱者に扱われるが、事故の際に過失がなくなる訳ではありません。交通事故被害者でない限り過失は、必然的に過半数以上を占めていきます。「過失＝過半数以上」の過失に課せられる過半数は、相手の被害者を過半数で押しあけてはなりません。

○クルマの過失によるクルマの過失、自転車の過失によるクルマの過失、自転車の過失による自転車の過失

事故の種類	過失割合	過失割合	過失割合	過失割合	過失割合	過失割合	過失割合
自転車からクルマに追突	0	100	過失割合	50	50	過失割合	100
自転車からクルマに追突	80	20	クルマが急ブレーキを踏む	50	50	過失割合	40
自転車からクルマに追突	45	55	過失割合	40	60	過失割合	100
クルマから自転車に追突	30	70	過失割合	30	70	過失割合	100

※上記はあくまで参考値です。実際の過失割合は、現場の状況によって異なります。必ず警察の判断に従ってください。

環境に優しい自転車のすすめ 資料一部抜粋

## 【施策11】 健康づくりを目指した自転車利用の充実

○ウェブサイトつくば市サイクリングガイドにコース1のおすすめ立ち寄り箇所を特集し、PRする周遊体験記事を作成・公開しました。  
 ○つくばフェスティバルとつくば環境フェスティバルに計3日間出展し、自転車の安全利用と利用促進を周知しました。【再掲：施策2】



筑波山麓コースを特集した体験記事

## 【施策12】 自転車を活用した健康づくりを応援するサービスの充実

○ウェブサイトつくば市サイクリングガイドにコース1のおすすめ立ち寄り箇所を特集し、PRする周遊体験記事を作成・公開しました。【再掲：施策11】  
 ◆令和元年度は、ウェブサイトを活用した情報提供を強化していきます【再掲】





自転車安全利用促進計画アクションプラン平成30年度進捗及び令和元年度予定について

資料No.2参考

a: 目標を達成(2点)、b: 目標は達成していないが、事業を実施(1点)、c: 事業未実施(0点)

平均点	施策番号	メニュー	実施メニュー	平成30年度実施メニュー実績						令和元年(2019年)度実施メニュー目標値		担当課	
				取組内容	進捗指標	評価	点数	目標値	実績	平成30年(2018年)度評価	目標値		令和元年(2019年)度事業予定
0	2	4	自転車ヘルメット利用促進事業	①自転車ヘルメット着用に関する普及広報活動	普及広報活動実施回数(回)	b	1	24	4	広報回数: イベント出展回数3回、つくばサイクリングガイドへ保険加入及びヘルメット着用推進記事掲載1回【再掲】	24	①ウェブサイト等を活用した周知広報活動に注力する②アンケートにて着用率を把握する③自転車販売事業者と連携した周知を行う。ヘルメット購入率の指標は、R1の見直し事項とする。	総合交通政策課
				②自転車小売業者による自転車ヘルメット着用促進活動	自転車購入者におけるヘルメット購入率(%)	c	0	60	検討		70		
0	3	1	自転車の安全利用を促進するためのコンソーシアム	コンソーシアムの設立	コンソーシアムの設立	c	0	運用	検討	つくば市交通安全協会など同様の目的と構成員の組織が既に存在することから、設立については引き続き検討するに留めた。	運用	自転車のまちつくば推進委員会をコンソーシアムとみなし、安全利用情報を委員会及び各団体で共有する。②委員会及び各団体での四季ごとの交通安全キャンペーン等への参加を企画する	総合交通政策課
0	4	1	自転車安全利用教育に携わる指導者の育成	②職場における自転車安全サポーターの認定	自転車安全利用教育指導者を配置する事業者数(社<累積>)	c	0	90	検討	つくば環境スタイルサポーター等に協力する企業等の人事部署と連携し、施策を推進する方針を検討	120	市内企業へ自転車安全利用チラシを展開し啓発を行う。持続可能な制度及び施策協力のメリットを整理する。	総合交通政策課
2	5	1	生活に密着したエリアの自転車走行空間の整備	1-①整備対象エリアの設定	道路走行空間検討エリア数(箇所)	a	2	4	4	H29年度から施工した吾妻地区自転車通行帯の整備(1.1km×両側=2.2km)が、繰り越してH30年度に完成した。また、H30年度に施工した吾妻地区の整備も完成した(片側=0.23km)。今後の整備のための竹園地区測量設計(1.7km×両側・一部片側)が完了した。	4	通学路交通安全プログラムに竹園西小学校区を位置付ける。2020年度に竹園西小学校区自転車通行帯の整備を再開する。	道路整備課
				1-②エリアの現状把握									
				1-③整備路線の選定・優先度の設定									
				1-④整備形態の考え方									
2	2	2	交通拠点への安全・安心なアクセスルートの整備	2-①整備対象エリアの選定	自転車走行空間検討エリア数(箇所)	a	2	2	2	H29年度から施工した吾妻地区自転車通行帯の整備(1.1km×両側=2.2km)が、繰り越してH30年度に完成した。また、H30年度に施工した吾妻地区の整備も完成した(片側=0.23km)。今後の整備のための竹園地区測量設計(1.7km×両側・一部片側)が完了した。H29年度から履行した吾妻地区(3.4km)及び竹園地区(2.5km)の遊歩道の測量設計が完了した。	2	H29年度自転車通行帯繰越工事の完了 H29年吾妻・竹園地区遊歩道測量設計の完了 H30年度事業:竹園地区自転車通行帯測量設計(1700m) H30年度事業吾妻地区自転車通行帯設置工事(270m)	道路整備課
				2-②エリアの現況把握									
				2-③整備路線の選定・優先度の設定									
				2-④整備形態の選定									
2	3	3	長距離を安全に楽しく自転車走行できるルートの整備	①道路状況に関する定期的な点検パトロール	自転車道、自転車専用通行帯等の整備延長(km<累積>)	a	2	-	2.43	H29年度から施工した吾妻地区自転車通行帯(1.1km×両側=2.2km)が繰越で完成 ・吾妻地区(片側=0.23km) ・竹園地区測量設計(1.7km×両側・一部片側) ・吾妻地区(3.4km)及び竹園地区(2.5km)の遊歩道測量設計完了	-	ペDESTリアンデッキの再整備については、吾妻地区(0.66km)及び竹園地区(1.13km)の遊歩道を再整備する。一部修正設計を施し、年度内に工事を発注予定	道路整備課
				②自転車道、自転車専用通行帯等の整備									

自転車安全利用促進計画アクションプラン平成30年度進捗及び令和元年度予定について

資料No.2参考

a: 目標を達成(2点)、b: 目標は達成していないが、事業を実施(1点)、c: 事業未実施(0点)

平均点

平均点	施策番号	メニュー	実施メニュー	平成30年度実施メニュー実績						令和元年(2019年)度実施メニュー目標値		担当課	
				取組内容	進捗指標	評価	点数	目標値	実績	平成30年(2018年)度評価	目標値		令和元年(2019年)度事業予定
1.67	5	4	ペDESTリアンデッキ整備	①車止めの改善	ペデ(メイン)点検・改修整備率(%<累積>) & ペデ(サブ)の点検・改修整備数(箇所)	a	2	100%・17箇所	90% 17か所	H29年度から履行した吾妻地区(3.4km)及び竹園地区(2.5km)の遊歩道の測量設計が完了した。	100% 17か所	ペDESTリアンデッキの再整備については、吾妻地区(0.66km)及び竹園地区(1.13km)の遊歩道を再整備する。一部修正設計を施し、年度内に工事を発注予定【再掲】	道路整備課
				②夜間照明に関する調査・改善実施									
				③路面標示や看板、サインの設置									
				④道路状況に関する定期的なパトロール・維持管理									
	6	1	自転車等放置禁止区域における環境改善事業	①サインによる情報提供	放置自転車撤去台数(台)	a	2	918	1133	放置自転車撤去業務委託を契約し、年間を通して、週3日撤去作業を実施した。委託業務を継続実施していることにより、放置禁止区域における撤去台数及び指導・警告件数は減少しているが、依然として撤去作業、指導・警告等の啓発は必要である。	868	継続して、撤去作業、放置防止の指導・警告を実施していく。撤去業務委託の設計に含まれていない分については、2月に1回程度を目標に直営で実施する。	公園・施設課
				②自転車等放置禁止区域における監視・撤去の継続実施									
				③利用しやすい駐輪場の維持管理									
	6	2	自転車等駐車場の附置義務の施行	①附置義務駐輪場の設置の徹底	附置義務駐輪場設置箇所数(箇所)	a	2	1~3	1	商業地域内での建築について適正な指導を行った。	1~3	つくば市自転車等駐車場附置義務条例に基づき、指定区域における駐輪場の附置について審査を行う。	公園・施設課
				②利用しやすい駐輪場の維持管理									
	6	3	リサイクル自転車活用事業	①保管期間を超過した放置自転車の販売	リサイクル自転車提供台数(台)	b	1	550	539	保管期限を超過した自転車については、条例に基づき、市から協定締結団体(茨城県自転車二輪自動車商協同組合等)へ継続して提供した。	530	保管期限を超過した自転車について、茨城県自転車二輪自動車商協同組合やつくば市シルバー人材センターに提供を行う。	公園・施設課
②リサイクル自転車販売と併せた自転車マナーに関する広報													
7	1	中心市街地の駐輪場の活用事業	①駐輪場の維持管理	中心市街地の駐輪場利用台数(台)	a	2	2521	3,395	つくば駅周辺自転車等駐車場16か所について、駐輪場管理事務室での窓口業務・施設管理・清掃、機械警備、消防設備保守点検、夜間障害対応及び管制装置保守等委託について、年間契約を締結し良好な駐輪場利用環境を提供した。	2545	施設管理を適正に行い、良好な駐輪場利用環境を提供する。	公園・施設課	
			②自転車等放置禁止区域における監視・撤去の継続実施										
7	2	休憩施設や自転車用無料空気入れなどの設置事業	①休憩施設の情報提供	休憩施設設置箇所数(箇所<累積>)	a	2	186	226	①市内公園数(184カ所)及び茨城県にて実施している市内サイクルサポートステーション数(42カ所)を実績値に計上 ②サイクルサポートステーション数(42カ所)及び空気入れを設置しているつくば駅及び筑波山口レンタサイクルの2カ所を計上	186	①ウェブやサイクリングマップで広く周知されているいばらきサイクルサポートステーション事業へ引き続き協力し、市内全体で自転車を利用しやすい環境構築を進める。②ウェブサイト「つくばサイクリングガイド」にて引き続き情報発信を行う。	総合交通政策課	
			②自転車用無料空気入れ設置箇所の拡大、情報提供										a

自転車安全利用促進計画アクションプラン平成30年度進捗及び令和元年度予定について

資料No.2参考

a: 目標を達成(2点)、b: 目標は達成していないが、事業を実施(1点)、c: 事業未実施(0点)

平均点	施策番号	メニュー	実施メニュー	平成30年度実施メニュー実績						令和元年(2019年)度実施メニュー目標値		担当課	
				取組内容	進捗指標	評価	点数	目標値	実績	平成30年(2018年)度評価	目標値		令和元年(2019年)度事業予定
1.5	7	3	シャワー施設や自転車修理等の情報提供事業	①シャワー施設や自転車修理等の情報提供	情報提供する施設箇所数(箇所)	a	2	20	42	①つくば市内のサイクルサポートステーション登録数が10か所増加し、計42か所となった。また、ウェブサイトサイクリングガイドを14回更新し、情報を発信した。	30	①市独自の取組であるウェブサイト「つくばサイクリングガイド」の発信情報を拡充していく。②サイクリングガイドで開設したインスタグラムを活用し、利用者同士及び市を含めた情報交換の場として活用する。	総合交通政策課
				②自転車に関わる情報収集の仕組み構築	自転車関連情報の収集件数(件)	b	1	75	12	②筑波学院大学学生が実施するセグウェイ地域見回り活動の際に、放置自転車やルールを守らない利用者等の情報提供を受けた(セグウェイ見守り活動9月～1月まで月2回→12回)	100		
	4	パーク&サイクルライド推進事業	①パーク&サイクルライドの導入検討	計画策定状況	d	0	-	位置づけ済	水郷筑波サイクリング環境整備総合計画(H28)、いばらき自転車活用計画に広域レンタサイクル及びサイクリングツアーが位置付けられている。H30年度ではないため評価はしない。	-	パーク&サイクルライド推進及びは民間主導の事業を促進し、市は広報・PRを主に取り組んでいく。	総合交通政策課	
			②パーク&サイクルライドを利用した自転車ツアーの実施										
1.2	1	1	交通拠点に付設した駐輪場整備事業	①交通拠点整備と連携した駐輪場整備	バス停に付設した駐輪場整備箇所数	b	1	2	0	①既に交通拠点には駐輪場が整備されており、一定の成果がある。	2	要望等市民ニーズを見ながら駐輪場の検討を行う。市民協働の観点から地域主体での設置・管理を促進していく。	総合交通政策課
				②バス停の新設と併せた駐輪場設置						②つくばバスの改編により新規停留所が増えたものの、道幅、需要、管理費等課題が多く、駐輪場設置を見送った。	2		
	2	2	自転車積載バス運行事業	①自転車積載バスに関する情報提供	自転車車載バス利用者数	b	1	300	10	①既存のバスには自転車1台分を積載するラックしか装着できないこと、予約は前日までであること、自転車の積載方法が分かりにくいことが低迷の要因として考えられる。	360	H29の18件より減少しており、抜本的な周知を行いつくば北部シャトル自転車積載ラックの認知度向上を図る。	総合交通政策課
				②民間主体による運営検討						①自転車積載バスに関する情報提供	①レンタルサイクル事業は、茎崎運動公園及び豊里ゆかりの森独自事業として継続実施する。②民間事業者から希望や相談に対しては、総合交通政策課が窓口となって対応する。	総合交通政策課	
8	3	3	サイクルシェアリング事業	①サイクルシェアリングの検討	サイクルシェアリングの研究	b	1	実証運用	検討	年間78台(茎崎運動公園50台、ゆかりの森28台)であること、車での来訪者が周遊する利用が中心であることからサイクルシェアリングは適さない結論付けた。②サイクルシェアリングは民間企業等に任せることとしているが、平成30年度は民間企業等からのサイクルシェアリングに関する相談は0件であった。	実証運用	総合交通政策課	
				②民間主体による運営検討						①つくば駅レンタサイクル	つくば駅レンタサイクル利用台数(台)	a	2
4	4	4	レンタサイクル事業	②筑波山口レンタサイクル	筑波山口レンタサイクル利用台数(台)	b	1	620	587	655			

自転車安全利用促進計画アクションプラン平成30年度進捗及び令和元年度予定について

資料No.2参考

a: 目標を達成(2点)、b: 目標は達成していないが、事業を実施(1点)、c: 事業未実施(0点)

平均点	施策番号	メニュー	実施メニュー	平成30年度実施メニュー実績						令和元年(2019年)度実施メニュー目標値		担当課
				取組内容	進捗指標	評価	点数	目標値	実績	平成30年(2018年)度評価	目標値	
0.5	9	1	エコ通勤支援事業	①エコ通勤の実施	エコ通勤における自転車利用者数(人)	b	1	220	0	年間を通してエコドライブ・エコ通勤に関する啓発物品を配布した。 また、つくば市に適したエコ通勤のあり方やエコドライブについてのセミナーを平成30年度採用職員を対象に実施し、自動車以外の通勤方法への転換やエコドライブの実施を促した。	230	環境政策課
				②事業所等へのエコ通勤協力依頼								
		2	温室効果ガス排出量削減促進事業	①温室効果ガス削減量の算出ツールの提供	早見表・記録カードの配布枚数(枚)	c	0	1000	0		1000	環境政策課 総合交通政策課
0.5	10	1	クルマから自転車へのモビリティマネジメント事業	①楽しい自転車利用に関する講座開催	広報の実施回数(回)・講座の回数(回)	b	1	24・12	29・1	・広報:つくばサイクリングガイドによる情報発信を26回、イベント出展3日間を合計し17回の広報を実施【再掲2-3・2-4】 ・講座:企業からの申込により出前講座「環境にやさしい生活のススメ」を1件実施(協和発酵バイオ㈱)	24・12	総合交通政策課
				①既存バス停への駐輪スペース確保	既存バス停への駐輪スペース整備数(箇所)	c	0	4	0	優先順位、歩道幅員、需要、管理コスト等課題が多く、駐輪場設置には至らなかった。	4	総合交通政策課
				②公共交通機関と連携した情報提供の実施	広報・情報提供の実施回数(回)	c	0	24	0	TX駅、市窓口及び交流センターを除き、バス停周辺に駐輪場を有する箇所は確認できず、バス停への情報掲示を見送った。	24	
	3	バス×りんりんつくばオデカケキャンペーン	①バス×りんりんつくばオデカケマップの作成	オデカケマップ配布数(枚)	b	1	3000	1200	オデカケマップは施策を整理し、H29から作成していない。代わりにつくばバイシクルスローライフを配布している。 また、つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会において、周遊促進のスタンプラリー開催している。	3000	総合交通政策課	

自転車安全利用促進計画アクションプラン平成30年度進捗及び令和元年度予定について

資料No.2参考

a: 目標を達成(2点)、b: 目標は達成していないが、事業を実施(1点)、c: 事業未実施(0点)

平均点	施策番号	メニュー	実施メニュー	平成30年度実施メニュー実績						令和元年(2019年)度実施メニュー目標値		担当課	
				取組内容	進捗指標	評価	点数	目標値	実績	平成30年(2018年)度評価	目標値		令和元年(2019年)度事業予定
1	11	1	サイクリングマップの作成事業	①サイクリングマップの情報更新	サイクリングマップ印刷部数(部)	b	1	5000	-	サイクリングマップ「つくばバイシクルスローライフ」の印刷は、平成29年度印刷した12,000部が十分に残っていることから見送った ②③民間事業者と協働し、ウェブサイトつくば市サイクリングガイドにコース1のおすすめ情報を強くPRする周遊体験記事を追加した。	5000	平成30年度もウェブサイトつくば市サイクリングガイドの内容更新及び機能追加を行う。ワークショップに替え、推進委員会にて情報交換やルート検討を行う。	総合交通政策課
				②サイクリングおすすめルート情報の収集	サイクリングマップWS参加者数(人)	b	1	50	-		50		
				③サイクリングマップの配布及び情報提供	サイクリングマップ印刷部数(部)	b	1	5000	-		5000		
1	12	2	自転車を利用したイベントの企画・支援	①市民・関連団体と連携した新規イベントの検討	自転車イベント実施回数(回)	b	1	8	3	各関係者との連携・支援・協力のもと、りんりんフェスタつくば霞ヶ浦サイクリング(10月)、サイエンスコラボ(11月、2日間)を実施した。特にサイエンスコラボでは、茨城県自転車二輪車商協同組合及びTASサイクルと連携し、自転車紹介に特化したブースを展開した。広報等の支援については、主にウェブサイトつくば市サイクリングガイドを活用して行った。	10	①サイクリングガイドのコース1及び2のルートや店等情報を更新する。②サイクリングガイドインスタグラムを活用し、市と自転車利用者双方の情報交換を行う。③市内各施設でバイシクルスローライフの配布を行う(1500部/年)	総合交通政策課
				②イベントに関する広報等の支援	自転車イベント実施回数(回)	b	1	8	3		10		
1	12	1	サイクリング記録アプリの開発	①サイクリングに関する機能を備えたアプリの開発	アプリの開発状況	d	0	提供	見送り	既に民間提供されているアプリを活用すべきであり、市予算での開発は見送った。	-	事業予定なし	総合交通政策課
				②健康サイクリングに関する情報発信	情報提供回数(回)	a	2	3	15	4	ウェブサイト「サイクリングガイド」にて計26件の情報発信、及び、協和発酵バイオ㈱にて実施した自転車安全利用及び利用促進を促進する出前講座を実績に計上した。	冊子スローライフの配布及びウェブサイトつくば市サイクリングガイドを用いて周知することにより、当施策の目標を達成していくこととする。	健康増進課 総合交通政策課

# つくば市自転車安全利用促進計画アクションプラン 中間評価について

## 1 評価の手順

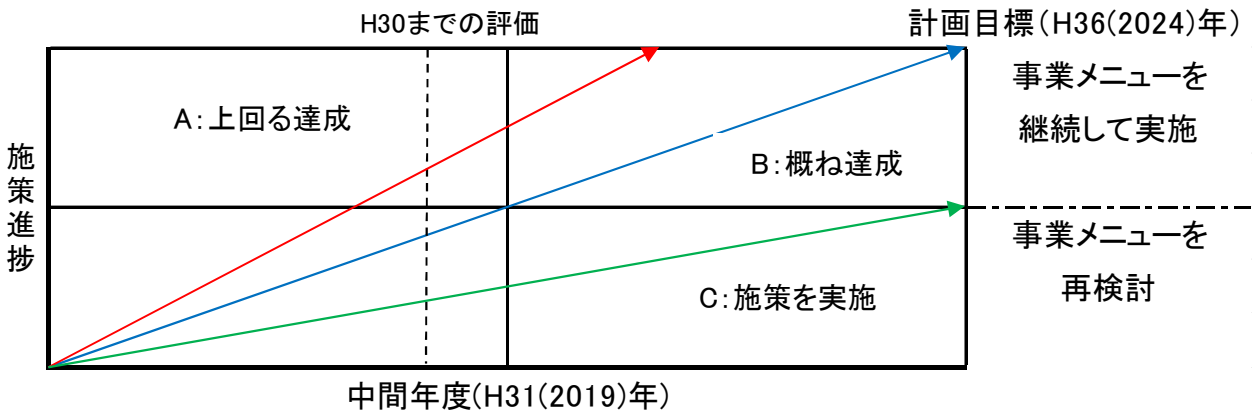
- (1) アクションプランの各**実施メニュー**進捗状況（H27年度～H30年度）を4段階で評価する。
- (2) 各実施メニューの評価結果を踏まえて、12施策の評価を数値化する。  
施策ごとに達成率に基づく中間評価を行うとともに進捗の課題を確認する。  
※ アンケート調査にて自転車利用者の意識を把握し、更に進捗を把握する。
- (3) 達成率に加え、直近の取組状況を加味し、中間評価を行う。  
※例：H27及びH28は未達成だが、H29及びH30は目標値を大きく超え、  
施策を実施→B評価をA評価に格上げ

各実施メニュー評価	A：目標値をすべて達成	3点
	B：一部目標値に届かないものの、概ね達成	2点
	C：目標値に届かないが、施策を実施	1点
	D：未着手・検討段階	0点
	直近の事業進捗状況や取組内容を考慮する。	

## 2 12施策の評価

○各実施メニューの評価をもとに、各施策の評価を点数化。

評価区分	A	B	C	D
評価点	3点	2点台	1点台	1点未満



## 3 計画全体の評価

○9月に実施を予定している自転車利用者向けアンケート調査により計画全体の進捗(自転車利用者の意識変化)を把握し、実施メニューに反映。

## 4 その他

○アクションプランの5年目である今年度の評価については、10月頃に上半期評価を実施し、実施メニュー検討に反映

# 自転車安全利用促進計画アクションプラン 実施メニュー中間評価

中間 評価	A: 目標値をすべて達成
	B: 一部目標値に届かないものの、概ね達成
	C: 目標値に届かないが、施策を実施
	D: 未着手・検討段階

施策 番号	実施メニュー名	取組内容	進捗指標	進捗指標				取組内容 中間評価	実施メニュー 中間評価	
				実績						
				H27	H28	H29	H30			
1	1 小学生のための自転車の安全利用に関する教育	①小学生のための交通安全教室の開催	小学生のための交通安全教室実施回数(回)	130	130	132	132	A	A	
				150	160	147	139			
		②小学生のための「自転車安全利用5則」のチラシの配付		チラシ配布数(枚)	検討	15000	15000	15000	B	
				500	780	15000	15000			
	2	2 中学生のための自転車の安全利用に関する教育	①中学生のための交通安全教室の開催	中学生のための交通安全教室実施回数(回)	16	16	17	17	B	C
					14	15	15	17		
		②体験型自転車安全教育プログラムの導入		体験型自転車安全教育プログラムの導入(校数)	検討	3	3	3	D	
				-	0	0	0			
	3	3 高校生のための自転車の安全利用に関する教育	①高校生のための自転車のまちづくりを考える講座の開設	高校生のための講座開催数(回)	1	3	5	5	D	D
					0	検討	0	0		
	4	4 保護者のための自転車の安全利用に関する教育	①保護者のための交通安全教室の開催	小学生保護者のための交通安全教室実施回数(回)	3	3	3	4	B	C
					0	3	1	4		
		②子供に教えるための自転車安全利用教育教材の導入		自転車安全利用教育教材導入(校数)	検討	3	3	3	C	
				-	1	1	0			
	5	5 高齢者のための自転車の安全利用に関する教育	①高齢者のための交通安全教室の開催	交通安全教室実施回数(回)	38	38	38	38	B	C
				129	56	49	37			
	②高齢者のための自転車安全利用に関する普及広報活動		市広報などによる情報提供回数(回)	4	4	4	4	C		
			-	4	4	0				
2	1 自転車安全利用サポーター制度	①自転車安全利用サポーターの公募	自転車安全利用サポーター数(人<累積>)	検討	300	600	900	D	D	
		②模範走行の実施		検討	検討	検討	検討			
		③キャンペーン等への参加		検討	検討	検討	検討			



## 自転車安全利用促進計画アクションプラン 実施メニュー中間評価

中間 評価	A：目標値をすべて達成
	B：一部目標値に届かないものの、概ね達成
	C：目標値に届かないが、施策を実施
	D：未着手・検討段階

施策 番号	実施メニュー名	取組内容	進捗指標	進捗指標				取組内容 中間評価	実施メニュー 中間評価
				実績					
				H27	H28	H29	H30		
2	2 幼児2人同乗用自転車購入補助事業	①幼児2人同乗用自転車購入費補助事業	幼児2人同乗用自転車購入費補助件数（件）	50	50	50	50	B	B
				37	44	49	37		
	3 自転車保険加入促進事業	①自転車保険に関する普及広報活動	普及広報活動実施回数（回）	6	12	24	24	C	C
				13	12	6	4		
				②自転車保険に関するパンフレットの配布	自転車購入者における保険加入率（%）	75	80		
	4 自転車ヘルメット利用促進事業	③自転車小売業者による普及広報活動	自転車購入者におけるヘルメット購入率（%）	調査したが算定困難	検討	検討	検討	C	C
6				12	24	24			
3	1 自転車の安全利用を促進するためのコンソーシアム	コンソーシアムの設立	コンソーシアムの設立	6	12	24	24	C	C
				13	13	6	4		
4	1 自転車安全利用教育に携わる指導者の育成	②職場における自転車安全サポーターの認定	自転車安全利用教育指導者を配置する事業者数（社<累積>）	40	45	50	92	C	C
				調査したが算定困難	検討	検討	検討		
3	1 自転車の安全利用を促進するためのコンソーシアム	コンソーシアムの設立	コンソーシアムの設立	検討	検討	設立	運用	D	D
				検討	検討	検討	検討		
4	1 自転車安全利用教育に携わる指導者の育成	②職場における自転車安全サポーターの認定	自転車安全利用教育指導者を配置する事業者数（社<累積>）	検討	30	60	90	D	D
				検討	検討	検討	検討		

# 自転車安全利用促進計画アクションプラン 実施メニュー中間評価

中間 評価	A：目標値をすべて達成
	B：一部目標値に届かないものの、概ね達成
	C：目標値に届かないが、施策を実施
	D：未着手・検討段階

施策 番号	実施メニュー名	取組内容	進捗指標	進捗指標				取組内容 中間評価	実施メニュー 中間評価
				実績					
				H27	H28	H29	H30		
5	1 生活に密着したエリアの 自転車走行空間の整備	1-①整備対象エリアの設定	道路走行空間検討エリア数 (箇所)	3	4	4	4	B	B
		1-②エリアの現状把握							
		1-③整備路線の選定・優先 度の設定							
		1-④整備形態の考え方							
	2 交通拠点への安全・安心 なアクセスルートの整備	2-①整備対象エリアの選定	自転車走行空間検討エリア 数(箇所)	1	2	3	-	B	B
		2-②エリアの現況把握							
		2-③整備路線の選定・優先 度の設定							
		2-④整備形態の選定							
	3 長距離を安全に楽しく自 転車走行できるルートの 整備	①道路状況に関する定期的 な点検パトロール	自転車道、自転車専用通行 帯等の整備延長(km<累積 >)	6.2	-	-	-	A	A
		②自転車道、自転車専用通 行帯等の整備							

# 自転車安全利用促進計画アクションプラン 実施メニュー中間評価

中間 評価	A：目標値をすべて達成
	B：一部目標値に届かないものの、概ね達成
	C：目標値に届かないが、施策を実施
	D：未着手・検討段階

施策 番号	実施メニュー名	取組内容	進捗指標	進捗指標				取組内容 中間評価	実施メニュー 中間評価	
				実績						
				H27	H28	H29	H30			
5	4	ペDESTロリアンデッキ整備	①車止めの改善	-	90	100	-	B	B	
			②夜間照明に関する調査・改善実施	-	-	90	90			
			③路面標示や看板,サインの設置	17	17	17	17			
			④道路状況に関する定期的なパトロール・維持管理	-	-	17	17			
6	1	自転車等放置禁止区域における環境改善事業	①サインによる情報提供	1,068	1,018	968	918	B	B	
			②自転車等放置禁止区域における監視・撤去の継続実施	1,257	902	2,094	1,133			
			③利用しやすい駐輪場の維持管理							
	2	自転車等駐車場の附置義務の施行	①附置義務駐輪場の設置の徹底	附置義務駐輪場設置箇所数(箇所)	1~3	1~3	1~3	1~3	B	B
					1	0	2	1		
	3	リサイクル自転車活用事業	①保管期間を超過した放置自転車の販売	リサイクル自転車提供台数(台)	650	610	570	550	B	B
②リサイクル自転車販売と併せた自転車マナーに関する広報				1068	0	961	539			

# 自転車安全利用促進計画アクションプラン 実施メニュー中間評価

中間 評価	A：目標値をすべて達成
	B：一部目標値に届かないものの、概ね達成
	C：目標値に届かないが、施策を実施
	D：未着手・検討段階

施策 番号	実施メニュー名	取組内容	進捗指標	進捗指標				取組内容 中間評価	実施メニュー 中間評価
				実績					
				H27	H28	H29	H30		
7	1 中心市街地の駐輪場の活用事業	①駐輪場の維持管理	中心市街地の駐輪場利用台数（台）	2,449	2,473	2,497	2521	A	A
				2,851	2,909	3,495	3,395		
	2 休憩施設や自転車用無料空気入れなどの設置事業	①休憩施設の情報提供	休憩施設設置箇所数（箇所<累積>）	175	185	185	186	A	B
				217	217	217	226		
		②自転車用無料空気入れ設置箇所の拡大、情報提供	空気入れ設置箇所数（箇所<累積>）	10	15	20	25	B	
				21	43	43	44		
	3 シャワー施設や自転車修理等の情報提供事業	①シャワー施設や自転車修理等の情報提供	情報提供する施設箇所数（箇所）	検討	10	10	20	A	B
				53	31	31	42		
		②自転車に関わる情報収集の仕組み構築	自転車関連情報の収集件数（件）	検討	50	50	75	C	
				方法検討	7	7	12		
4 パーク&サイクルライド推進事業	①パーク&サイクルライドの導入検討	計画策定状況	検討	計画策定	-	-	B	B	
			検討	策定完了	策定済み	策定済み			
8	1 交通拠点に付設した駐輪場整備事業	①交通拠点整備と連携した駐輪場整備	バス停に付設した駐輪場整備箇所数	設置箇所を検討	2	2	2	C	C
				設置箇所を検討	2	1	0		
	2 自転車積載バス運行事業	①自転車積載バスに関する情報提供	自転車車載バス利用者数	120	180	240	300	C	C
				6	0	18	10		

# 自転車安全利用促進計画アクションプラン 実施メニュー中間評価

中間 評価	A：目標値をすべて達成
	B：一部目標値に届かないものの、概ね達成
	C：目標値に届かないが、施策を実施
	D：未着手・検討段階

施策 番号	実施メニュー名	取組内容	進捗指標	進捗指標 実績				取組内容 中間評価	実施メニュー 中間評価
				H27	H28	H29	H30		
8	3 サイクルシェアリング事業	①サイクルシェアリングの検討	サイクルシェアリングの研究	調査研究	社会実験	社会実験	社会実験	C	C
		②民間主体による運営検討		調査研究	検討 ※需要把握のため 無料レンタサイクルを実験	検討 ※需要把握のため 無料レンタサイクルを実験	検討 ※需要把握のため 無料レンタサイクルを実験		
	4 レンタサイクル事業	①つくば駅レンタサイクル	つくば駅レンタサイクル利用台数（台）	2,800 3,487	2,850 3,931	2,900 4,000	2950 4,731	A	B
		②筑波山口レンタサイクル	筑波山口レンタサイクル利用台数（台）	515 570	550 415	585 530	620 587	B	
9	1 エコ通勤支援事業	①エコ通勤の実施		190	200	210	220	C	D
		②事業所等へのエコ通勤協力依頼	エコ通勤における自転車利用者数（人）	191	251	100 エコ通勤 ウィーク に代え通 年実施	未算定 エコ通勤 ウィーク に代え通 年実施		
	2 温室効果ガス排出量削減 促進事業	①温室効果ガス削減量の算出ツールの提供	早見表・記録カードの配布枚数（枚）	検討 検討	1,000 0	1,000 0	1,000 0	D	D

# 自転車安全利用促進計画アクションプラン 実施メニュー中間評価

中間 評価	A：目標値をすべて達成
	B：一部目標値に届かないものの、概ね達成
	C：目標値に届かないが、施策を実施
	D：未着手・検討段階

施策 番号	実施メニュー名	取組内容	進捗指標	進捗指標				取組内容 中間評価	実施メニュー 中間評価
				実績					
				H27	H28	H29	H30		
10	1 クルマから自転車へのモ ビリティマネジメント事 業	①楽しい自転車利用に関す る講座開催	広報の実施回数（回）	6	12	24	24	C	C
			講座の実施回数	13	9	11	29		
		②公共交通機関と連携した 情報提供の実施	4	12	12	12	C		
	2 自転車とバスを連携した 通勤促進事業	①既存バス停への駐輪ス ペース確保	既存バス停への駐輪ス ペース整備数（箇所）	1	0	0	1	C	D
			②既存バス停への駐輪ス ペース確保	2	4	4	4		
		②公共交通機関と連携した 情報提供の実施	6	12	24	24	D		
	3 バス×りんりんつくばオ デカケキャンペーン	①バス×りんりんつくばオ デカケマップの作成	オデカケマップ配布数 （枚）	2,500	3,000	3,000	3,000	C	C
			オデカケマップの作成	5,000	0	0	0		
	11	1 サイクリングマップの作 成事業	①サイクリングマップの情 報更新	サイクリングマップ印刷部 数（部）	5,000	5,000	5,000	5,000	B
②サイクリングおすすめ ルート情報の収集				20	40	50	50		
③サイクリングマップの配 布及び情報提供			0	0	0	0	D		
2 自転車を利用したイベン トの企画・支援		①サイクリングマップの配 布及び情報提供	サイクリングマップ印刷部 数（部）	5,000	5,000	5,000	5,000	B	C
			①サイクリングマップの配 布及び情報提供	15,000 【再掲】	12,000	12,000	0		
		①市民・関連団体と連携し た新規イベントの検討	3	5	7	8	C		
②イベントに関する広報等 の支援		3	6	3	3				
12		1 サイクリング記録アプリ の開発	①サイクリングに関する機 能を備えたアプリの開発	アプリの開発状況	検討	検討	提供	－	C
	アプリの開発状況			検討	1	検討	見送り		
	2 健康サイクリング講座の 開設	②健康サイクリングに関す る情報発信	情報提供回数（回）	検討	2	2	3	B	C
			情報提供回数（回）	検討	2	1	15		

## 12施策に関する中間評価

番号	施策	平均点数	評価	評価の要点
1	ライフステージに応じた自転車利用等の交通安全に関する教育の促進	1.3	C一部達成	○当初目標としていた交通安全教室の件数や周知活動をほぼ目標通りに達成 ●体験型自転車プログラムや高校生向け講座などの新たな交通安全教育を実施することができなかった。
2	自転車安全利用を促す啓発活動	1.0	C一部達成	○幼児二人乗り自転車購入補助、保険加入・ヘルメット着用促進を継続して実施。効果はアンケート調査にて把握する。 ●自転車安全利用サポーター制度が検討段階である。 ●保険加入及びヘルメット着用促進の広報活動回数が少ない。
3	連携・協働による自転車安全利用促進体制の充実	0.0	D未達成	●つくば市交通安全協議会のような目的を同様とする既存団体があり、目的が競合している取組みの整理がつかず、コンソーシアム設立には至っていない。
4	自転車安全利用教育を応援する体制の構築	0.0	D未達成	●検討段階である。 ●企業への自転車安全利用教育指導者の配置が進んでいない。
5	歩行者・自転車等の通行環境の整備・充実	2.3	B概ね達成	○自転車や歩行者の通行が集中しているつくば駅周辺地区における自転車レーン整備総延長が10.4kmとなり、当初予定を上回っている。 ○ペDESTリアンデッキの樹木伐採、根上り段差の解消、防犯灯の設置などの整備を行い、安全面に大きな成果が出ている。
6	駐輪場の整備と放置自転車の対策	2.0	B概ね達成	○放置自転車撤去やリサイクル自転車提供台数が概ね順調である。
7	サイクリングを楽しむためのサービス環境の充実	2.3	B概ね達成	○TX各駅の駐輪場新設又は拡大を行い、当初予定を上回る成果 ○いばらきサイクルサポートステーション事業による市内各所に空気入れや休憩場所の拡大、及び、広域レンタサイクル(つくば駅)の実施により自転車向けサービス環境が向上
8	公共交通と連携した自転車利用の促進	1.6	C一部達成	○市営レンタサイクルは観光客以外にもビジネス利用者の需要を取り込み、計画以上の利用が見られる。 ○バス拠点の駐輪場整備は概ね完了しており、新たな取組みの検討が必要。
9	温室効果ガス排出量削減を目指した行動の拡大	0.5	D未達成	●H28年度までは期間を定めて市内エコ通勤ウィークを実施していたが、更なる効果を知るため通年でエコ通勤やエコドライブのセミナーを実施し啓発する施策に転換。指標に対応しておらず点数が低くなっている。
10	交通手段転換へのサポートの充実	0.8	D未達成	○ウェブサイトにてイベント告知、おすすめサイクリングコース、インスタグラムなどの自転車利用へ誘引する取組みを行い、年間47000件のアクセスがあったことから一定の周知効果があったと考える。 ●既存バス停への駐輪場は物理的制約や管理コスト等により困難であることが多く、設置が進んでいないことから評価が低くなっている。
11	健康づくりを目指した自転車利用の充実	1.3	C一部達成	○サイクリングマップ配布数やイベント周知を継続して実施。 ●マップ作成ワークショップを実施していない点、及び、イベント実施回数が少ない点で評価が低くなっている。
12	自転車を活用した健康づくりを応援するサービスの充実	1.5	C一部達成	○市で開設しているウェブサイトによる情報提供数を一定数実施している。 ●サイクリング記録アプリを市で作成することを見送っているため評価が低くなっている。

リーディング施策(重点施策)の中間評価

重点事業分類		施策		実施メニュー	取組概要	
基本目標	施策方向性	番号	施策名			
【基本目標1】 自転車の安全利用 につながる意識づ くり	<施策の方向性1 > 自転車安全利用を 促すための教育の 充実	1	自転車安全利用を促 すための教育の充実	中学生のための自転車の安 全利用に関する教育	○H27年度から毎年度、公立中学校全校に てつくば市の交通安全教室を開催。	
					高校生のための自転車の安 全利用に関する教育	○検討段階で実施に至っていない。
					高齢者のための自転車の安 全利用に関する教育	○H27年度から継続して実施し、概ね目標 値通りの開催回数を実施。
		2	自転車安全利用を促 す啓発活動	自転車安全利用サポーター 制度	○検討段階で実施に至っていない。	
【基本目標2】 安全で、快適に自 転車で走ることが できる環境づくり	<施策の方向性3 > 自転車走行環境の 形成	5	歩行者・自転車等の 通行環境の整備・充 実	生活に密着したエリアの自 転車走行空間の整備	○つくば駅周辺の自転車レーン整備が、令 和2年度で全計画区間を完了する予定。 ○平成30年度末時点で、つくば駅周辺自 転車レーン整備総延長は10.4km。	
				交通拠点への安全・安心な アクセスルートの整備		
				ペDESTリアンデッキ整備	○H27～H30年度で、ペDESTリアン デッキ主線（メディカルセンター前～赤塚 公園）の90%を点検・改修を実施。 ○継続した補修予算を確保し、H27年度か ら毎年17箇所程度を補修。	
	<施策の方向性4 > 自転車を快適に利 用できるサービス の構築	7	サイクリングを楽し むためのサービス環 境の充実	中心市街地の駐輪場の活用 事業	○つくば駅周辺の自転車駐車場の整備を進 め、H27～H30年度で、約550台分の市 営自転車駐車を整備。 ○つくば駅周辺駐輪場は、H30年度は約 196,000台の利用があり、駐輪場の活用 が図られている。	
		8	公共交通と連携した 自転車利用の促進	交通拠点に付設した駐輪場 整備事業	○H28年度に筑波山口バスターミナル及び 研究学園駅に駐輪場を整備。また、H29年 度には筑波窓口センターに駐輪場を整備。	
【基本目標3】 環境にやさしく健 康に役立つ自転車 を楽しむまちづくり	<施策の方向性5 > 環境にやさしい自 転車利用の促進	10	交通手段転換へのサ ポートの充実	クルマから自転車へのモビ リティマネジメント事業	○H27年度から一定数の広報を継続して実 施。特にH29年度からはウェブサイト「つ くばサイクリングガイド」の情報更新に注 力し、情報発信を行った。	
	<施策の方向性6 > 健康づくりにつな がる自転車利用の 促進	11	健康づくりを目指し た自転車利用の充実	サイクリングマップの作成 事業	○H27年度にウェブサイト「つくばサイク リングガイド」を立ち上げた。当サイトに 周遊マップや機能追加等を毎年度実施し、 現在では年間約47,000件の訪問がある。 ○冊子版「バイシクルスローライフ」を H27年度から累計で39,000部を作成及び 配布した。	
				自転車を利用したイベント の企画・支援	○多くの人が集まる既存のイベント（つく ばフェスティバル等）へ出展し、自転車の 安全利用及び利活用をPRした。 ○各種団体が実施するイベントは、ウェブ サイト「サイクリングガイド」の新着情報 として紹介し、周知面での支援を行ってい る。	



# つくば市自転車安全利用促進計画 アクションプラン 見直し方針について

令和元年(2019年)7月18日

つくば市 都市計画部 総合交通政策課

# つくば市の自転車安全利用の取組みについて

- 平成26年度に自転車安全利用促進条例を制定・施行し、条例に基づく計画として自転車安全利用促進条例及びアクションプラン(平成27年4月施行)を位置づけている。
- 安全で適正な自転車利用環境があって、自転車の利用促進が図られるものと整理。

## つくば市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例

(平成26年(2014年)4月1日施行)

- 基本理念：交通事故や放置駐輪など諸問題を市、市民等及び関係機関の相互の連携により解決し、安全で適正な自転車利用を促進する。
- 特徴：①市は**自転車安全利用促進計画を策定する責務**。  
②市民、自転車利用者、自転車小売業者、保護者に安全利用を推進するための努力義務(安全点検、保険加入、保護具着用)を設定  
③市は、茨城県、警察、学校等教育機関と連携し安全利用を図る。



条例に基づいた計画と位置づけ

## つくば市自転車安全利用促進計画

(平成27年(2015年)4月1日施行)

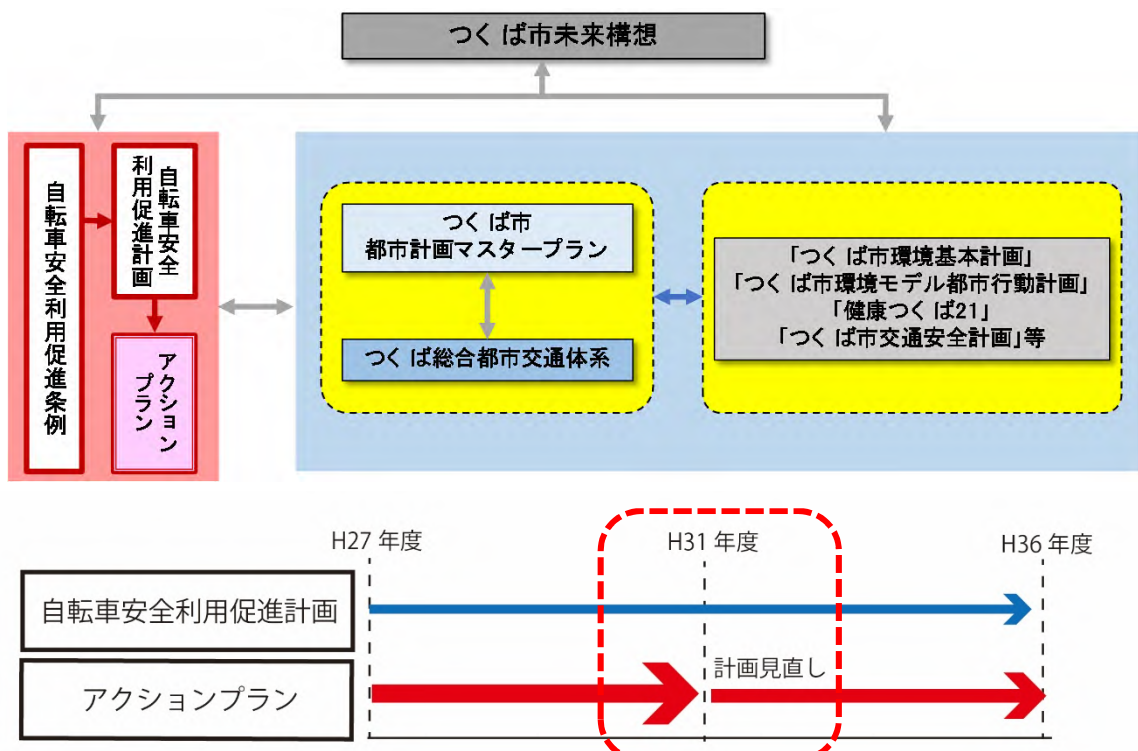
- つくば市における自転車の安全利用の促進及び走行環境の向上に関わる基本計画として、各種自転車施策の展開方針を示す(基本計画)
- 計画期間：平成27年(2015年)～平成36年(2024年)の10ヶ年



## つくば市自転車安全利用促進計画アクションプラン

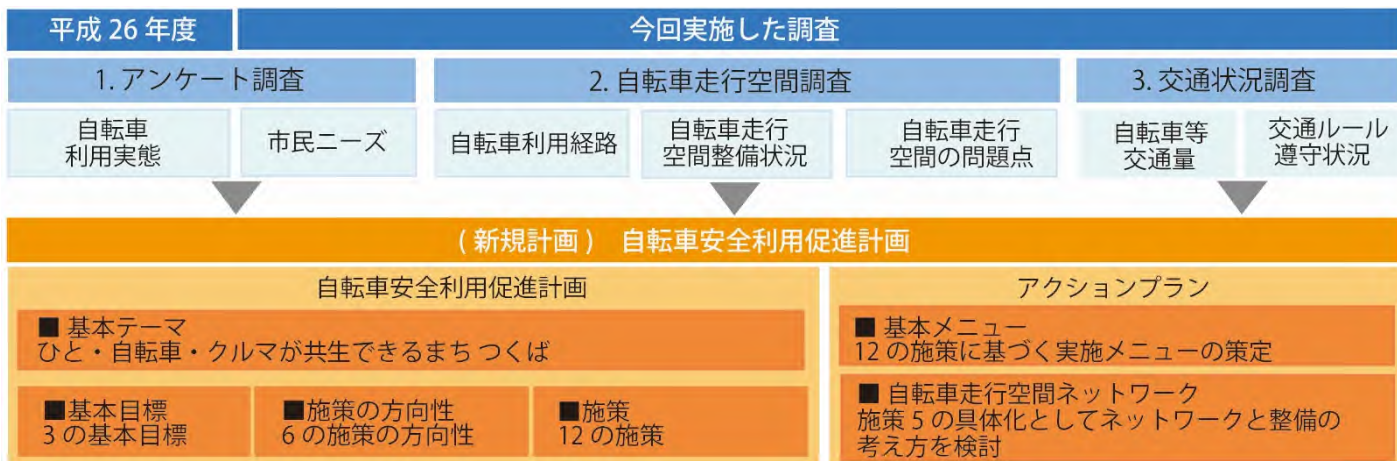
(平成27年(2015年)4月1日施行)

- 「自転車安全利用促進計画」に掲げた各施策の着実な推進を図るため施策の具体的内容やスケジュールを定めたもの(行動計画)
- 計画期間：平成27年(2015年)～平成31年(2019年)の5ヶ年



# アクションプランの構成について

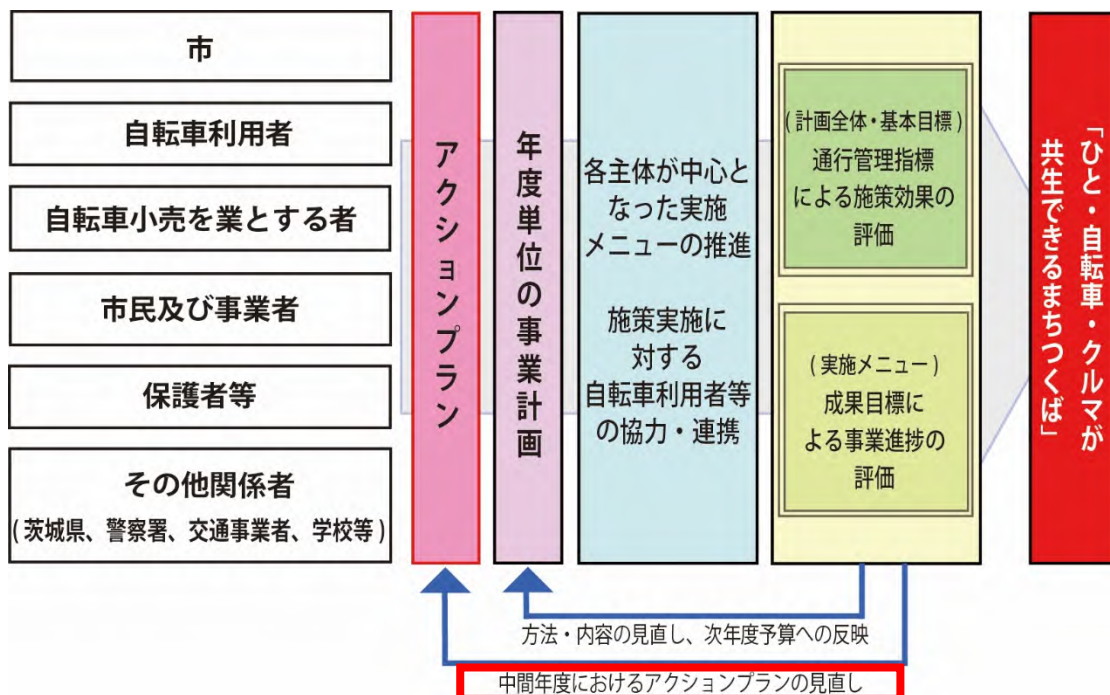
- 平成26年度の自転車安全利用促進計画及びアクションプラン策定時に
  - ①アンケート調査②自転車走行空間調査③交通状況調査を実施。
- 調査結果をもとに抽出した課題を解決するため、自転車安全利用促進計画にて3つの基本目標、6つの施策方向性及び12の施策を策定。
- 促進計画の12の施策に基づく具体的な実施内容をアクションプランにて策定。



引用：アクションプランP3図2-1調査体系

## ○なぜアクションプランの見直しを行うのか？

つくば市自転車安全利用促進計画の目標を達成するため  
 …促進計画策定時に把握した課題に対する取組みがアクションプラン。  
 目標への到達度を踏まえて、施策の組み替えや拡充等を行い、  
 より高い効果を目指すために見直しを行います。



# 国や茨城県の計画との整合について

- 自転車活用推進計画及びいばらき自転車活用推進計画と、つくば市の計画における類似した施策は以下のとおり(下線部)。
- 国及び茨城県と整合を図っていくべき実施メニューについては、現行の施策枠組みで対応が可能であることから、つくば市自転車安全利用促進計画の計画期間(平成36年度(2024年度)まで)は、現行の計画で施策を進めていく。

## ○自転車活用推進計画 (計画期間2018~2020年度まで)

<b>目標1 自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成</b> 1. <u>自転車通行空間の計画的な整備の促進</u> 2. <u>路外駐車場の整備や違法駐車取締りの推進等による自転車通行空間の確保</u> 3. シェアサイクルの普及促進 4. 地域の駐輪ニーズに応じた駐輪場の整備推進 5. 自転車のIoT化の促進 6. 生活道路での通過交通の抑制や無電柱化と合わせた自転車通行空間の整備	<b>目標3 サイクルツーリズム推進による観光立国の実現</b> 11. 国際会議や国際的なサイクリング大会等の誘致 12. 走行環境整備や受入環境整備等による世界に誇るサイクリング環境の創出
<b>目標2 サイクルスポーツの振興等による活力ある健康長寿社会の実現</b> 7. 国際規格に合致した自転車競技施設の整備促進 8. <u>公道や公園等の活用による安全に自転車に乗れる環境の創出</u> 9. <u>自転車を利用した健康づくりに関する広報啓発の推進</u> 10. <u>自転車通勤の促進</u>	<b>目標4 自転車事故のない安全で安心な社会の実現</b> 13. 高い安全性を備えた自転車の普及促進 14. <u>自転車の点検整備を促進するための広報啓発等の促進</u> 15. <u>交通安全意識の向上に資する広報啓発活動や指導・取締りの重点的な実施</u> 16. <u>学校における交通安全教室の開催等の推進</u> 17. <u>自転車通行空間の計画的な整備の促進(再掲)</u> 18. 災害時における自転車の活用の推進

## ○いばらき自転車利用推進計画 (計画期間2019~2021年度まで)

<b>目標1 サイクルツーリズムの推進による地域の活性化</b>	<b>目標3 自転車事故のない安全で安心な社会の実現</b>
施策1. 豊富な地域資源を活用した仕掛けづくり 【主な措置】・セグメント(レベル)に合った多彩なサイクリングコースの整備等 ・統一的な案内誘導サイン等の整備検討・地域資源を活用した自転車旅の提案等 施策2. 「つくば霞ヶ浦りんりんロード」のブランドイメージの向上 【主な措置】・モデルルート(幹線コース)と位置付けるための環境整備の推進 ・国内の自転車博や海外旅行博等への出展によるPR など 施策3. サイクリング情報の効果的な発信 【主な措置】・雑誌やYouTuberなどを活用した国内外への情報発信、SNSやデジタルマーケティング等の活用による双方向の情報発信機能などの充実など 施策4. 誰もがいつでも手軽にサイクリングを楽しめる環境の構築 【主な措置】・サイクリングガイド(多言語対応含む)の養成 ・タンDEM自転車等の公道走行の推進・まちなか施設や都市公園等へのレンタサイクルの導入など 施策5. 交通結節点の拠点化、サポート体制の充実 【主な措置】・茨城空港や道の駅等のサイクリング拠点化 ・荷物等配送サービスやサイクルレスキュー等の導入によるサポート体制の充実・休憩施設等の機能充実など	施策1. <u>多様な交通安全教育の推進</u> 【主な措置】・ライフステージ等に応じた自転車安全教育・啓発を推進 ・学校や地域が連携した通学路安全マップの作成 施策2. <u>自転車の安全利用の促進</u> 【主な措置】・「思いやり運転」の意識向上 ・自転車乗車時のヘルメット着用等の意識向上 ・自転車損害賠償保険等への加入促進など 施策3. <u>自転車の交通安全教育に係る人材の育成</u> 【主な措置】・交通安全教育者の資質の向上 ・自転車安全教育指導員養成講習会の活用による指導員の拡充 施策4. 災害時における自転車活用の推進 【主な措置】・「国土強靱化地域計画」、「地域防災計画」等の見直しの際には、災害時における自転車の活用方策を検討
<b>目標2 自転車交通の役割拡大に向けた自転車通行空間の整備</b>	<b>目標4 自転車を活用した県民の健康増進</b>
施策1. <u>いばらき自転車ネットワークに基づく計画的な整備推進</u> 【主な措置】・全県におけるモデルルート(幹線コース)の位置づけに向けた整備・アクセス道路への案内標識等の整備 ・市町村版自転車活用推進計画の策定支援など 施策2. <u>自転車活用の促進に向けたまちづくりと連携した取組の推進</u> 【主な措置】・地域ニーズに対応したまちなか駐輪場の整備検討 ・駐車監視員による違反車両の取締り強化 ・通学路周辺の安全点検など	施策1. <u>健康増進等につながる自転車活用の促進</u> 【主な措置】・健康増進につながる自転車活用を推進(ヘルスケアポイント事業) ・県庁における自転車通勤の利用促進や自転車通勤者が利用しやすい環境整備等の検討など 施策2. <u>自転車を活用した健康づくりの有用性の広報啓発</u> 【主な措置】・民間企業等による健康増進に資する好事例の収集・発信 ・競輪場等を活用した県民参加の取組など

# アクションプラン見直しの範囲について

○ 今年度のアクションプランの見直しは、以下の表の「実施メニュー」が対象となります。

## 自転車安全利用促進計画

## アクションプラン

ひとと自転車・クルマが共生できるまち つくばへ安くて快適なりんりんつくば

基本目標	施策の方向性	施策	実施メニュー
<b>基本目標 1</b> 自転車の安全利用につながる意識づくり 安全・安心	施策の方向性 1 自転車安全利用を促すための教育の充実	施策 1 ライフステージに応じた自転車利用等の交通安全に関する教育の促進	1. 小学生のための自転車利用等の交通安全に関する教育 2. 中学生のための自転車利用等の交通安全に関する教育 3. 高校生のための自転車の安全利用に関する教育 4. 保護者のための自転車利用等の交通安全に関する教育 5. 高齢者のための自転車利用等の交通安全に関する教育
	施策の方向性 2 自転車の安全な利用を見守る社会の構築	施策 2 自転車安全利用を促す啓発活動  施策 3 連携・協働による自転車安全利用促進体制の充実  施策 4 自転車安全利用教育を応援する体制の構築	1. 自転車安全利用サポーター制度 2. 幼児2人同乗用自転車購入費補助事業 3. 自転車保険加入促進事業 4. 自転車ヘルメット利用促進事業
<b>基本目標 2</b> 安全で、快適に自転車で走ることができる環境づくり 安全・安心 まちづくり	施策の方向性 3 自転車走行環境の形成	施策 5 歩行者・自転車等の通行環境の整備・充実	1. 自転車に安全に楽しく自転車走行できるためのコンソーシアム 1. 自転車の安全利用を促進するためのコンソーシアム 2. 自転車安全利用教育に携わる指導者の育成
	施策の方向性 4 自転車を快適に利用できるサービスの構築	施策 6 駐輪場の整備と放置自転車の対策  施策 7 サイクリングを楽しむためのサービス環境の充実  施策 8 公共交通と連携した自転車利用の促進	1. 生活に密着したエリアの自転車走行空間の整備 2. 交通拠点への安全・安心なアクセスルートの整備 3. 長距離を安全に楽しく自転車走行できるルートの整備 4. ヘッドライトの設置 1. 自転車駐輪場の整備 2. 自転車置き場の確保 3. リサイクル自転車活用事業 1. 中心市街地の駐輪場の活用事業 2. 休憩施設や自転車用無料空気入れなどの設置事業 3. シャワー施設や自転車修理等の情報提供事業 4. パーク&サイクルライド推進事業
<b>基本目標 3</b> 環境にやさしく健康に役立つ自転車を楽しむまちづくり 環境 健康 まちづくり	施策の方向性 5 環境にやさしい自転車利用の促進	施策 9 温室効果ガス排出量削減を目指した行動の拡大  施策 10 交通手段転換へのサポートの充実	1. エコ通勤促進事業 2. 温室効果ガス排出量削減促進事業 1. クルマから自転車へのモビリティマネジメント事業 2. 自転車とバスを連携した利用促進事業 3. バス×りんりんつくばオデカケキャンペーン
	施策の方向性 6 健康づくりにつながる自転車利用の促進	施策 11 健康づくりを目指した自転車利用の充実  施策 12 自転車を活用した健康づくりを応援するサービスの充実	1. サイクリングマップの作成事業 2. 自転車を利用したイベントの企画・支援 1. サイクリング記録アプリの開発 2. 健康サイクリング情報発信事業

見直し対象

# アクションプラン見直しの方向性

- 市民に分かりやすい(仮称)後期アクションプランを念頭に置き、各実施メニューの検討を①～③の観点を踏まえて行う。
- 特に、市が行っている具体的な取組み(交通安全教育、自転車レーン整備など)を分かりやすく表記

## 市民に分かりやすいアクションプラン

### ①実施メニューの検討

(1) 中間評価及びアンケート調査(9月予定)を踏まえた実施メニューの検討

- ①【達成率が高い施策及び実施メニュー】→継続して事業を実施
- ②【達成率が低い施策及び実施メニュー】→事業の再検討・統廃合を実施

(2) 似ている実施メニューを整理

- ①取組内容を整理し、分かりやすい実施メニュー体系を目指す

例：A P 施策5実施メニュー1～3は類似した取組みである。

これを実施している内容ごとに(自転車レーン整備、道路修繕、ペDESTリアンデッキ修繕等)整理し、分かりやすい表記を目指す。

### ②新たな目標値の設定

(1) 令和2年(2020年)度～令和6年(2024年)度の目標値設定

- ①新たに5か年の実施メニュー目標値を設定
  - ・現在の目標値は実施メニューによってH31までやH36までとばらつき
  - ・H31以降の各年の目標値を設定し、計画終了年度までの目標を策定

### ③関係者と協働した取組み

(1) 各団体の取組内容を後期アクションプラン実施メニューに位置づけ

- ①関係団体の事業を実施メニュー又は事業内容に位置づけ

・関連事業をアクションプランに記載することで、つくば市に關係する各事業を体系的に周知する役割を担う。

※現在のアクションプランは、つくば市のみを進捗評価対象としている。

※自転車の取組みは関係団体で一体的に推進する必要がある。

例:チーム36 →筑波山麓へ誘客する自転車イベント等の企画・実施  
茨城県警察→春夏秋冬交通安全週間の実施 等

- ②新規検討施策についても各団体との協働を検討

自転車安全利用促進計画アクションプラン 中間評価による実施メニュー見直し方針(案)

資料No. 4-2

施策番号	実施メニュー名	取組内容	進捗指標	中間評価による実施メニュー及び取組の見直し方向性(案)
1	1 小学生のための自転車の安全利用に関する教育	①小学生のための交通安全教室の開催	小学生のための交通安全教室実施回数(回)	<p>&lt;施策の基本方針&gt; 各年齢層における交通安全及び自転車安全利用への意識や理解の深さの違いを踏まえ、実効性の高い交通教育を展開すること。</p> <p>【実施メニューの検討】 ①交通安全教室は、引き続き位置づけ ②検討段階の事業は、実施内容を再検討</p> <p>【新たな目標値の設定】 ①交通安全教室は、引き続き目標値を設定。 ②アウトカム指標(施策の結果、児童・生徒の行動がどのように変わったかを図る数値)の導入を検討。</p> <p>【関係団体との協働】 協働する関係団体として、茨城県警察、交通安全母の会及びつくば市PTA連絡協議会等を想定</p>
		②小学生のための「自転車安全利用5則」のチラシの配付	チラシ配布数	
	2 中学生のための自転車の安全利用に関する教育	①中学生のための交通安全教室の開催	中学生のための交通安全教室実施回数(回)	
		②体験型自転車安全教育プログラムの導入	体験型自転車安全教育プログラムの導入(校数)	
	3 高校生のための自転車の安全利用に関する教育	①高校生のための自転車のまちづくりを考える講座の開設	高校生のための講座開催数	
	4 保護者のための自転車の安全利用に関する教育	①保護者のための交通安全教室の開催	小学生保護者のための交通安全教室実施回数(回)	
		②子供に教えるための自転車安全利用教育教材の導入	自転車安全利用教育教材導入(校数)	
	5 高齢者のための自転車の安全利用に関する教育	①高齢者のための交通安全教室の開催	交通安全教室実施回数(回)	
		②高齢者のための自転車安全利用に関する普及広報活動	市広報などによる情報提供回数(回)	

自転車安全利用促進計画アクションプラン 中間評価による実施メニュー見直し方針(案)

資料No. 4-2

施策番号	実施メニュー名	取組内容	進捗指標	中間評価による実施メニュー及び取組の見直し方向性(案)
2	1 自転車安全利用サポーター制度	①自転車安全利用サポーターの公募	自転車安全利用サポーター数(人<累積>)	<p>&lt;施策の基本方針&gt; 交通ルール・マナーを周知し、理解を深め、実際にルールを守る行動がとれるよう社会全体で連携し、様々な観点から市民の意識を啓発すること。</p> <p>【実施メニューの検討】 ①メニュー1については、通勤・通学者への自転車安全利用啓発活動として実施メニューを組み替え ②メニュー2～4については、継続して事業を実施</p> <p>【新たな目標値の設定】 ①保険加入及びヘルメット着用率の指標を差し替え</p> <p>【関係団体との協働】 ①協働する関係団体として、茨城県自転車二輪自動車商協同組合、PTA連絡協議会、中学校長・高等学校長協議会、筑波大学を想定</p>
		②模範走行の実施		
		③キャンペーン等への参加		
	2 幼児2人同乗用自転車購入補助事業	①幼児2人同乗用自転車購入費補助事業	幼児2人同乗用自転車購入費補助件数(件)	
	3 自転車保険加入促進事業	①自転車保険に関する普及広報活動	普及広報活動実施回数(回)	
		②自転車保険に関するパンフレットの配布	自転車購入者における保険加入率(%)	
		③自転車小売業者による普及広報活動	自転車購入者における保険加入率(%)	
	4 自転車ヘルメット利用促進事業	①自転車ヘルメット着用に関する普及広報活動	普及広報活動実施回数(回)	
②自転車小売業者による自転車ヘルメット着用促進活動		自転車購入者におけるヘルメット購入率(%)		
3	1 自転車の安全利用を促進するためのコンソーシアム	コンソーシアムの設立	コンソーシアムの設立	<p>&lt;施策の基本方針&gt; 条例に位置づけられた関係者の連携・協働により自転車の安全利用促進施策を積極的に展開するための体制を構築すること。</p> <p>【実施メニューの検討】 ○検討段階のままであり、抜本的な施策の組み替えを検討。</p> <p>【関係団体との協働】 ○協働団体として、当委員会の市内各団体を位置付けることを検討</p>



自転車安全利用促進計画アクションプラン 中間評価による実施メニュー見直し方針(案)

資料No. 4-2

施策番号	実施メニュー名	取組内容	進捗指標	中間評価による実施メニュー及び取組の見直し方向性(案)
4	1 自転車安全利用教育に携わる指導者の育成	職場における自転車安全サポーターの認定	自転車安全利用教育指導者を配置する事業者数(社<累積>)	<p>&lt;施策の基本方針&gt; 自転車の安全利用教育をサポートし、多くの人たちが主体的に自転車安全利用教育を実施できる体制を構築すること。</p> <p>【実施メニューの検討】 ○自転車の通勤利用の促進(施策9及び10)と組合わせた事業内容を検討。</p>
5	1 生活に密着したエリアの自転車走行空間の整備	1-①整備対象エリアの設定	道路走行空間検討エリア数(箇所)	<p>&lt;施策の基本方針&gt; 自転車のさらなる利用促進を促すための走行環境の整備・充実を図っていくこと。</p> <p>【実施メニューの検討】 ○つくば駅周辺の自転車レーン整備の進捗が当初計画延長を上回っている。引き続き、自転車レーンや矢羽根等の路面標示整備を実施メニューに位置づけていくことを想定 ○計画策定当初想定した事業内容との離れている各実施メニューや取組内容については、整理・統合を検討</p>
		1-②エリアの現状把握		
		1-③整備路線の選定・優先度の設定		
		1-④整備形態の考え方		
	2 交通拠点への安全・安心なアクセスルートの整備	2-①整備対象エリアの選定	自転車走行空間検討エリア数(箇所)	<p>【新たな目標値の設定】 ○自転車レーン、ピクトグラム整備、修繕箇所数などの事業ごとに指標化を検討。</p> <p>【関係団体との協働】 ○協働する関係団体として、茨城県土浦土木事務所(国県道)、つくば市PTA連絡協議会(通学路)を想定</p>
		2-②エリアの現況把握		
		2-③整備路線の選定・優先度の設定		
		2-④整備形態の選定		
3 長距離を安全に楽しく自転車走行できるルートの整備	①道路状況に関する定期的な点検パトロール ②自転車道、自転車専用通行帯等の整備	自転車道、自転車専用通行帯等の整備延長(km<累積>)		
4 ペDESTリアンデッキ整備	①車止めの改善 ②夜間照明に関する調査・改善実施 ③路面標示や看板、サインの設置 ④道路状況に関する定期的なパトロール・維持管理	ペデ(メイン)点検・改修整備率(%<累積>) & ペデ(サブ)の点検・改修整備数(箇所)		

自転車安全利用促進計画アクションプラン 中間評価による実施メニュー見直し方針(案)

資料No. 4-2

施策番号	実施メニュー名	取組内容	進捗指標	中間評価による実施メニュー及び取組の見直し方向性(案)	
6	1 自転車等放置禁止区域における環境改善事業	①サインによる情報提供	放置自転車撤去台数(台)	<p>&lt;施策の基本方針&gt;                      自転車等放置禁止区域での啓発事業と連携しながら、駐輪場利用を促進し、違反駐輪の防止を図ること、及び、駐輪場の整備を進めるとともに、巡回パトロールを強化し、違反駐輪の減少を図っていくこと。</p> <p>【実施メニューの検討】                      ①駐輪場整備は、当初計画を上回っている。維持管理（放置駐輪対策、利用者への啓発）を想定した実施メニューを検討                      ②放置駐輪は減少させていくことが目標であることに留意し、取組内容及び目標値の検討を行う。</p>	
		②自転車等放置禁止区域における監視・撤去の継続実施			
		③利用しやすい駐輪場の維持管理			
2	自転車等駐車場の附置義務の施行	①附置義務駐輪場の設置の徹底	附置義務駐輪場設置箇所数(箇所)	<p>【新たな目標値の設定】                      ①事業によるアウトカム指標（利用者の意識変化を把握できるもの）を検討。                      ②放置駐輪の目標値を検討【再掲】</p> <p>【関係団体との協働】                      ○協働する関係団体として、茨城県自転車二輪自動車商協同組合を想定</p>	
3	リサイクル自転車活用事業	①保管期間を超過した放置自転車の販売	リサイクル自転車提供台数(台)		
		②リサイクル自転車販売と併せた自転車マナーに関する広報			
7	1	中心市街地の駐輪場の活用事業	①駐輪場の維持管理	中心市街地の駐輪場利用台数(台)	<p>&lt;施策の基本方針&gt;                      ◆環境にやさしく、健康に役立つ自転車のさらなる利用促進を図るために、自転車利用を楽しむためのサービスを充実させていくこと。</p> <p>【実施メニューの検討】                      ○自転車活用推進法等の趣旨を踏まえ、観光誘客の実施メニューについては、施策7及び8での検討を想定                      ○いばらきサイクルサポートステーション等の観光誘客に資する取組を具体的に記載することを検討                      ○取組内容は現状に則した修正を行う。</p> <p>【関係団体との協働】                      ○協働する関係団体として、茨城県地域振興課、茨城県土浦土木事務所、チーム36を想定</p>
	2	休憩施設や自転車用無料空気入れなどの設置事業	①休憩施設の情報提供	休憩施設設置箇所数(箇所<累積>)	
			②自転車用無料空気入れ設置箇所の拡大、情報提供	空気入れ設置箇所数(箇所<累積>)	
	3	シャワー施設や自転車修理等の情報提供事業	①シャワー施設や自転車修理等の情報提供	情報提供する施設箇所数(箇所)	
②自転車に関わる情報収集の仕組み構築			自転車関連情報の収集件数(件)		
4	パーク&サイクルライド推進事業	①パーク&サイクルライドの導入検討 ②パーク&サイクルライドを利用した自転車ツアーの実施	計画策定状況		

自転車安全利用促進計画アクションプラン 中間評価による実施メニュー見直し方針(案)

資料No. 4-2

施策番号	実施メニュー名	取組内容	進捗指標	中間評価による実施メニュー及び取組の見直し方向性(案)
8	1 交通拠点に付設した駐輪場整備事業	①交通拠点整備と連携した駐輪場整備 ②バス停の新設と併せた駐輪場設置	バス停に付設した駐輪場整備箇所数	<p>&lt;施策の基本方針&gt; ◆公共交通と連携した自転車利用の推進に必要な施策を、引き続き検討・実施し、公共交通の充実を図ること。</p> <p>【実施メニューの検討】 ○自転車活用推進法等の趣旨を踏まえ、観光誘客の実施メニューについては、施策7及び8での検討を想定【再掲】 ○概ね完了している実施メニュー(駐輪場整備)は、組み換えを行う。 ○自転車積載以外にも、鉄道&amp;バスと自転車の連携を検討する。 ○現在の検討状況や対外的位置づけを踏まえて取組内容を検討する。 ○レンタサイクルに広域レンタサイクルの位置づけを検討する。</p> <p>【新たな目標値の設定】</p> <p>【関係団体との協働】 ○協働する関係団体として、茨城県地域振興課、茨城県土浦土木事務所、チーム36等を想定</p>
	2 自転車積載バス運行事業	①自転車積載バスに関する情報提供	自転車車載バス利用者数	
	3 サイクルシェアリング事業	①サイクルシェアリングの検討 ②民間主体による運営検討	サイクルシェアリングの研究	
	4 レンタサイクル事業	①つくば駅レンタサイクル ②筑波山口レンタサイクル	つくば駅レンタサイクル利用台数(台) 筑波山口レンタサイクル利用台数(台)	
9	1 エコ通勤支援事業	①エコ通勤の実施 ②事業所等へのエコ通勤協力依頼	エコ通勤における自転車利用者数(人)	<p>&lt;施策の基本方針&gt; ◆エコ通勤の促進など新たな取組を行い、温室効果ガス排出量削減を目指した行動を拡大すること。</p> <p>【実施メニューの検討】 ○自転車活用推進法等の趣旨を踏まえ、自転車通勤の促進等の実施メニュー拡充を検討。 【新たな目標値の設定】 ○現在進めている事業に対応した指標を検討。 【関係団体との協働】 ○協働する関係団体として茨城県を想定。</p>
	2 温室効果ガス排出量削減促進事業	①温室効果ガス削減量の算出ツールの提供	早見表・記録カードの配布枚数(枚)	

自転車安全利用促進計画アクションプラン 中間評価による実施メニュー見直し方針(案)

資料No. 4-2

施策番号	実施メニュー名	取組内容	進捗指標	中間評価による実施メニュー及び取組の見直し方向性(案)
10	1 クルマから自転車へのモビリティマネジメント事業	①楽しい自転車利用に関する講座開催	① 広報の実施回数 (回)	<p>&lt;施策の基本方針&gt;                      ◆クルマから自転車への移動手段の転換を促すためのソフト施策を推進すること。</p> <p>【実施メニューの検討】                      ○クルマから自転車への転換を図る(モビリティマネジメント)啓発事業を検討。                      ○終了している施策については、実施メニューの組み替えを検討【再掲】                      ○自転車活用推進法等の趣旨を踏まえ、自転車通勤の促進等の実施メニュー拡充を検討【再掲】</p> <p>【新たな目標値の設定】</p>
			② 講座の実施回数	
	2 自転車とバスを連携した通勤促進事業	①既存バス停への駐輪スペース確保 ②公共交通機関と連携した情報提供の実施	① 既存バス停への駐輪スペース整備数(箇所)	
② 広報・情報提供の実施回数(回)				
3 バス×りんりんつくばオデカケキャンペーン	①バス×りんりんつくばオデカケマップの作成	① オデカケマップ配布数(枚)		
11	1 サイクリングマップの作成事業	①サイクリングマップの情報更新 ②サイクリングおすすめルート情報の収集 ③サイクリングマップの配布及び情報提供	① サイクリングマップ印刷部数(部)	<p>&lt;施策の基本方針&gt;                      ◆健康増進に寄与する自転車の利用を促進するために、日常的に自転車を利用する時間を多くさせること</p> <p>【実施メニューの検討】                      ○ウェブサイトやSNSでの発信など、現況を踏まえた実施メニューを検討。                      ○サイクリングイベントの広報を拡充。</p> <p>【新たな目標値の設定】</p>
			② サイクリングマップWS参加者数(人)	
			③ サイクリングマップ印刷部数(部)	
	2 自転車を利用したイベントの企画・支援	①市民・関連団体と連携した新規イベントの検討 ②イベントに関する広報等の支援	① 自転車イベント実施回数(回)	

自転車安全利用促進計画アクションプラン 中間評価による実施メニュー見直し方針(案)

資料No. 4-2

施策番号	実施メニュー名	取組内容	進捗指標	中間評価による実施メニュー及び取組の見直し方向性(案)
12	1 サイクリング記録アプリの開発	①サイクリングに関する機能を備えたアプリの開発	アプリの開発状況	<p>&lt;施策の基本方針&gt;                      ◆健康のために習慣として継続的に自転車を利用することができるように、自転車を活用した健康づくりを応援するサービスの充実を図ること。</p> <p>【実施メニューの検討】                      ①事業の完了に伴い、新たな取組みを検討する。                      ②茨城県等の取組みと連携した実施メニューを検討する。</p> <p>【新たな目標値の設定】</p> <p>【関係団体との協働】                      協働する関係団体として、茨城県、市民、つくば市体育協会を想定。</p>
	2 健康サイクリング講座の開設	②健康サイクリングに関する情報発信	情報提供回数(回)	

## つくば市自転車安全利用促進計画アクションプラン見直し アンケート調査概要

## 1 アンケート調査の概要

○つくば市自転車安全利用促進計画（以下、促進計画）及びアクションプラン（以下、AP）の見直しのための中間評価に必要な数値を取得する必要がある。

○数値の推移を見るため、調査対象及び配布票数は原則 26 年度実施時と同様とする。

○回収率向上のため、抽選でつくばコレクション等の景品（菓子類）を提供。

## 2 アンケート調査方法

## (1) アンケートの対象、実施期間、配布数等

## ■令和元年(2019年)度アンケート調査対象等

調査場所	主な調査対象	主な利用目的	調査期間	配布予定数(案)	前回回収率
TX4駅周辺市営駐輪場	就業者・学生	通勤、業務、私事等	R1.9/10～	2200	-
インターネット	サイクリングガイド閲覧者	私事等	R1.9/10～	ウェブ回答	
市内県立高校	高校2年生	通学等	R1.9/10～	800	87%
市内公立小中学校PTA	子育て中の市民	私事等	R1.9/10～	700	93%
筑波大学	学生	通学、私事等	R1.9/10～	ウェブ回答	
各交流センター	公共施設利用者	私事等	R1.9/10～	500	41%
各窓口センター	公共施設利用者	私事等	R1.9/10～	200	3%
合計				4400	56%

## &lt;参考&gt;

◆平成26年度実施アンケート調査対象と期間等					
調査対象区分	調査場所	主な調査対象	主な利用目的	調査期間	獲得票数
自転車駐輪場	TX4駅周辺市営駐輪場	就業者・学生	通勤、業務、私事等	H26.9/5(金)～10/24(金)	430
高校生	市内県立高校	高校2年生	通学等	H26.9/1(月)～9/8(月)	691
小中学校PTA	市内公立小中学校	子育て中の市民	私事等	H26.9/1(月)～9/8(月)	556
交流センター・窓口センター利用者	各交流センター・窓口センター	公共施設利用者	私事等	H26.9/1(月)～9/8(月)	215
合計					1892

## (2) 調査票の配布

## 1) アンケート調査票の配布方法

配布場所	調査票配布方法	調整先
TX4 駅周辺市営駐輪場	駐輪している全自転車のカゴにアンケート調査票を投函	公園・施設課
市内県立高校	学校を通じて第2学年生徒へ配布	各高校担当教諭及びつくば市中学校長・高等学校長協議会
市内公立小中学校	学校を通じ、各校のPTAへ配布	教育局教育指導課及びつくば市PTA連絡協議会
筑波大学	今後調整	学生生活課
各交流センター	窓口で取り置き	文化芸術課
各窓口センター	窓口で取り置き	市民窓口課

## 2) 調査票配布先一覧

## ■ 市営駐輪場

対象駐輪場
つくば駅中央自転車駐輪場 (第1、第2、第3)
つくば駅西自転車駐輪場
つくば駅北1自転車駐輪場
つくば駅北2自転車駐輪場
研究学園駅西自転車駐輪場
研究学園駅東自転車駐輪場
万博記念公園駅北自転車駐輪場
みどりの駅北自転車駐輪場
つくば中央図書館西路上自転車駐輪場
つくば中央図書館南路上自転車駐輪場
つくば中央公園東路上自転車駐輪場
つくば駅南自転車駐輪場
つくばさくら大橋北自転車駐輪場

## ■ 県立高校

高校名
筑波高等学校
竹園高等学校
つくば工科高等学校
並木中等高等学校

## ■ 筑波大学 学生

小中学校(令和元年)	大穂中学校
大曾根小学校	豊里中学校
前野小学校	谷田部中学校
要小学校	高山中学校
吉沼小学校	手代木中学校
沼崎小学校	谷田部東中学校
今鹿島小学校	桜中学校
上郷小学校	竹園東中学校
谷田部小学校	並木中学校
谷田部南小学校	吾妻中学校
真瀬小学校	荃崎中学校
島名小学校	高崎中学校
葛城小学校	春日学園中学校
柳橋小学校	秀峰筑波中学校
小野川小学校	学園の森中学校
手代木南小学校	みどりの学園中学校
二の宮小学校	
栄小学校	
九重小学校	
桜南小学校	
栗原小学校	
竹園東小学校	
並木小学校	
吾妻小学校	
竹園西小学校	
松代小学校	
東小学校	
荃崎第一小学校	
荃崎第二小学校	
荃崎第三小学校	
春日学園小学校	
秀峰筑波小学校	
学園の森小学校	
みどりの学園小学校	

## (3) アンケート調査スケジュール(案)

作業	8月			9月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
アンケート実施内容決定 (設問、配布方法)	→		◆-----◆			
配布先との調整 (各高校、小中学校PTA)		→	◆-----◆			
アンケート用ウェブページ作成 アンケートの案内印刷	▶		◆-----◆			
アンケート配布		→		◆-----◆		
回答期間		→		◆-----◆		
集計作業				→		◆-----◆

## 3 アンケート設問

○基本方針：促進計画及び AP 施策の効果を確認するため、前回アンケートの設問を使用。  
加えて、各施策の効果を測定するための設問を追加。

## (1) AP の進行管理指標として設定されている指標 (AP131~132 頁)

AP頁	進行管理指標名	基本目標	対応施策
131	歩行者・自転車・自動車が共生できていると感じる割合(全体)	最上位概念	計画全体
131	歩行者・自転車・自動車が共生できていると感じる割合(ペデ)	最上位概念	計画全体
132	自転車走行空間に対する満足度	基本目標2	生活に密着したエリアの自転車走行空間の整備 交通拠点への安全・安心なアクセスルートの整備 ペDESTリアンデッキ整備
132	ペDESTリアンデッキが歩行者にとって安全な空間になっていると回答した割合	基本目標2	ペDESTリアンデッキ整備
132	地球温暖化対策として「自転車・徒歩による移動」を実施していると答えた割合	基本目標3	クルマから自転車へのモビリティマネジメント事業 サイクリングマップの作成事業 自転車を利用したイベントの企画・支援
132	健康づくりのために「自転車・徒歩による移動」を実施していると答えた割合		
132	つくば市民の日常利用する交通手段(自転車の割合)		